





明京電機株式会社

ご購入ありがとうございます

WACTH BOOT mini RPC-T4Hをご購入いただき誠にありがとうございます。 WACTH BOOT mini RPC-T4Hはネットワーク経由でシステム機器の制御/管理をする電 源制御装置です。4個の100VAC電源を個別に遠隔制御/管理でき、またケーブル接続された 無停電電源装置(UPS)をネットワーク経由で管理することもできます。またNTPサーバーに 接続することにより、週間スケジューラーとしてもご利用になります。 WACTH BOOT mini が皆様の所有されるネットワークシステムにおいて、有効かつ有用な

ツールとして機能することを願っております。

この取扱説明書を必ずお読みください。

本書はセットアップ手順と、操作、設置、安全の確保などのための手順が記載されています。 ご使用の前に、必ず本書をお読みください。お読み終わった後も大切に保管してください。

付属品一覧

本製品には次の付属品が同梱されています。必ずご確認ください。

1. 取扱説明書 (保証書)		1部
2. CD-ROM		1枚
内容・取扱説明書(詳細版)PDF ファイル	
・設定ユーティリ	ティソフト・インストールファイル	
・制御ユーティリ	ティソフト・インストールファイル	
・ネットワーク稼	動監視ソフト・インストールファイル	
 Acrobat Read 	ler インストールファイル	
・プライベート N	IIBファイル	
・PTシャットダ	ウン・インストールファイル	
・その他(READ	ME ファイルを参照してください。	
3. RS232C(クロス)ケーブル	arbla · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	1本
4. 2P/3P 変換プラグ		1個

安全上のご注意

この取扱説明書での表示では、本装置を安全に正しくお使いいただくために、いろいろな絵表示を しています。その表示と意味は以下のようになっています。本文をよくお読みいただき、内容をよ くご理解の上、正しくご使用ください。

注意喚起シンボルとシグナル表示の例

▲ 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能 性が想定される内容を示しています。
1 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定 される内容、及び物的損害*の発生が想定される内容を 示しています。

※物的損害とは家屋家財および家畜ペットにかかわる拡大損害を示します。

図記号の例

分解・改造禁止	 ◎は、禁止(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は◎の中や近くに絵や文章で 示します。 左図の場合は「分解・改造の禁止」を示します。
電源プラグを抜く	 ●は、強制(必ずすること)を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で 示します。左図の場合は「差し込みプラグをコンセントから 抜くこと」を示します。



機器には接続しないでください。







●電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない

電源プラグを抜くときは必ずプラグを持って抜いてください。 コードを引っ張って抜くと傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。

●通気孔をふさがない

製品には、内部の温度上昇を防ぐために通気孔が開けられています。 壁際の設置は、通気孔から5 cm以上離してください。 通気孔から5 cm以内に、物などを置かないでください。 内部に熱がこもり、やけどや火災の原因となることがあります。

●風通しの悪いところに置かない

製品を密閉された場所に置かないでください。熱がこもり、やけどや火災、故障の原因となることがあります。

●温度が高くなるところに置かない

直射日光の当たるところや熱器具の近くなど、高温になるところに置かないでください。やけどや火災、故障の原因となることがあります。

●お手入れのときは

本装置の本体が汚れた場合は、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませ、よく絞ってから軽く拭いてください(絶対に、電源プラグやコネクタなどの接続部をこの方法で拭かないでください)。薬品類(ベンジン・シンナーなど)は使わないでください。変質・変色する場合があります。本体に接続されている電源プラグやコネクタなどの接続部のお手入れは、電源プラグやコネクタを抜いて、機器を傷つけないよう軽く乾拭きしてください。いずれの場合も、必ず本装置の電源プラグをコンセントから抜き、本装置に接続されている電源プラグやコネクタ類も全て抜いてから行なってください。感電や故障の原因となることがあります。



コードを引っ張らない

通気孔をふさがない

風通しの悪い場所禁止

温度が高い場所禁止

●湿気やほこりの多いところに置かない 湿気やほこりの多い場所や調理台、加湿器の近くなど、油煙や湯気があたるような場所に置かないでください。火災や感電の原因となることがあります。





目 次

第 1章 はじめに ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	9
2. 接続可能な無停電電源装置(UPS)	
3. 各部の名称と機能	
4. DIP スイッチの設定	
5. LEDの表示について	
第2章 設置・取り付け ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	13
1. テスクトッノへの設置	
	15
	10
2. 初期化の方法	
第4章その他の設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	23
1. ターミナルソフトによる設定	
2. TELNET による設定	
第 5章 Webブラウザでの設定・制御 ・・・・・・・・・・・	27
2 ビイユリノ1 設定 2 通信設定	
5 スケジュール設定	
6 メール設定	
7 システム情報	
8 CPUリセット	
3. 状態表示項目	
1 簡易情報表示	
2 監視状態表示	
3 イベントログ表示	
4. 電源制御	
第 6音 コーティリティーでの設定・制御 ・・・・・・・・・・・	19
	-10
2. 設定項目	
1 基本設定	
2 セキュリティ設定	
3 通信設定	
3-1 ネットワーク	
3-2 関連項目/WOL	

- 3-3 状態通知/PPPoE3-4 IPフィルター

- 4 監視設定 5 スケジュール設定 6 メール設定

	7 システム情報 8 通信中継
:	9 コマンド通信 3 状態表示項目
·	1 簡易情報表示
	2 監視状態表示 3 イベントログ表示
	4. 電源制御
;	D. CPUIZER
第 7章	その他の制御 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 74
	1. TELNET 接続による制御
-	2. シリアルからの制御 3. モデムからの制御
第 8章	ロギング機能 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 79
	1. ロギング機能の設定・制御
	■ログ制御変数のヒット構成 ■ログ表示コマンド
	■ログの表示形式
	■記録ログー覧表
第9章	$PPPOE U使用 \cdots \cdots$
	2. 設定について
;	3. 制御について
, 午 10 音	4. 動作について シャットダウン ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 89
	1. シャットダウンについて
	2. パソコンの接続
、	3. パソコンの設定 毎点電気には完美しのとの清増
- − − 1 早	無停電電源装置(UPS)との連携 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 94 1 本機と無停電電源装置(UPS)の接続
:	2. 機器設定
第12章	SNMPの使用 ・・・・・・・・・・・・・・ 97
	1. SNMP について
	2. 1版品取足 3. MIBについて
第13章	ネットワーク稼動監視 ・・・・・・・・・・・・・・ 100
	1. 機器設定
, 第14章	2. RPC コンダクタの利用 什様一覧 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 103
	■ 変数一覧表
	 ■ ログ変数一覧表 ■ 仕様 SET
	 □ 11(1) □ タイムチャート
	· · · · ·



1. 機能概要

本機には以下の機能があります。

- 1) 4 個の 100VAC 電源を個別に制御/管理
- 2) 通信による電源制御
 - ・WEB からの電源制御と設定
 - TELNET からの電源制御と設定
 - ・専用ソフトからの電源制御と設定
 - ・PPPoE クライアントとしての接続に対応
 - ・シリアル(COM)からの電源制御と設定
- スケジュールによる制御
 ・週間スケジュールによる電源制御
- 4) センター通知機能
 - ・電源状態と死活監視状態をセンターへ通知
- 5) 通信中継機能 ・TELNET クライアント、シリアルコンソールとして通信
- 6)各デバイスへの遅延電源投入・本体電源投入時に、指定した順番、タイミングによる各デバイスの起動
- 7) 無停電電源装置 (UPS) との連携によるシャットダウン処理
- 8) 監視機能
 - ・電源状態の監視
 - ・温度状態の監視
 - ・ Ping による 死活 監視
- 9) MAGICPACKET による起動
- 10) メールによる制御や通知
- 11)通信による遠隔バージョンアップ

2. 接続可能な無停電電源装置 (UPS)

接点通信式無停電電源装置 (UPS)が接続できます。 ・WindowsNT/2000/XPなどの標準UPSサービスに対応している必要があります。 UPS の設定は、添付の設定ユーティリティまたは Web コントロールプログラ ム(機能設定時)のどちらからでもできます。

3. 各部の名称と機能

フロントパネル



リヤパネル



10BASE-T	LAN ケーブル(8 ピン RJ45)を接続します。
2 COM	初期設定用及び UPS 及びモデム・シリアル接続用 通信ポートとして使用します。
3 LED	CPU の通信状態を表示します。
④ TEMP	温度センサーを接続します。
⑤ DIP スイッチ	初期設定、本体設定に使用します。
⑥ RESET スイッチ	出力電源に影響を与えずに CPU を初期化します。
7 PILOT LED	本体に電源が投入されている場合に点灯します。
8 OUTLET LED	AC アウトレットの電源出力状態を表示します。
9 FUSE	ガラス管ヒューズ 15A を使用します。
⑩ 電源コード	商用電源、UPS などに接続します。
⑪ シャットダウン I/F	シャットダウンケーブル(別売)を接続します。
12 AC アウトレット	デバイスの電源コードを接続します。

 注意 DIP スイッチを操作するときは、本体の AC アウトレットから 全デバイスを取り外してください。
 DIP スイッチ操作また設定終了後は、必ず、本体前面の RESET スイッチを押してください。誤動作する恐れがあります。

DIP スイッチの機能(OFFは「上」、ONは「下」を意味します。)

NO.	状態	モード
1	OFF	シリアル・モデム運転モード
I	ON	UPS(接点信号式)運転モード
2	OFF	OFF に固定
	ON	未使用
2	OFF	運転モード
3	ON	メンテナンスモード(初期設定)
4	未使用	常に上 (OFF)

5. LED表示について

本体には3種類のLEDが装備されています。

1) LED、CPUの通信状態を表示します。

NO.	用途	状 態	表示
		ケーブル抜け DDDoE 接続 通営比能	0.25秒点灯、0.25秒消灯 2 动点灯、0.5秒消灯
1	CPU 状態	PPPoE 接続、 随害または復旧中	0.5 秒点灯、0.5秒消灯
		その他の状態	1 秒点灯、1 秒消灯
0		パケット受信時	点灯
2		パケット未受信時	消灯

- PILOT LED 本体に電源投入されている場合に点灯します。
- 3) OUTLET LED ACアウトレットの電源出力状態を表示します。

 ONの場合
 : 点灯

 OFFの場合
 : 消灯

第2章 設置・取り付け 1. デスクトップへの設置

以下の手順で設置します。

- 本体を設置場所に置きます。
 設置場所は、単相100VAC/15A以上のコンセントに直接差し込める場所 で本体背面に電源プラグやコネクタが、差し込める位置であることを確認し ます。
- 2)本体前面の10BASE-TにLANケーブルを接続します。
- 3)本体の電源コードをコンセントに接続します。



2. ラックへの取り付け

以下の手順でラックに取り付けます。

- ラック・キャビネットにプレートを取り付けます。
 プレートはラックサイズに合った一般市販品をご用意ください。
- 2) ラック・キャビネットに本機を設置します。
- 3)本体前面10BASE-TにLANケーブルを接続します。
- 4) 電源コードをコンセントに接続します。

3. 固定方法

本機固定のため設置用の穴があります。

底面についている設置用の穴(4箇所)を利用して機器を固定します。 取り付け用のねじは、M3×8L(MAX)をご利用ください。

第3章 初期設定 初期設定には設定ユーティリティソフトによる方法と、WEB 接続による設定があります。

1) ユーティリティによる設定

設定ユーティリティソフトのインストール手順は添付 CD の README. txt を参照してください。設定用PCと本機とは、付属 RS232C(クロス)ケーブルで接続します。設定ユーティリティソフトは Windows 対応ソフトです。それ以外の端末から設定する場合は、コンソールプログラムを利用して直接コマンド入力します。

- ① 本体前面の DIP スイッチ. 3 をON(下)にします。
- ② 本体前面の RESET スイッチを押します。
- ③ 設定ユーティリティソフトを起動します。パスワード画面が表示されます。 パスワード「magic」(デフォルト)を入力し、COMポートを選択 します。

パスワード画面	
ATCH BOOT Setup	<u> </u>
WATCH BOOT Setup	:
WATCH BOOT Setup Ver 1.0 ハ*スワード COMホート COM 1 DIP-SW 3番をONしてください。 接続	
-	

④ 「接続」ボタンをクリックします。設定画面が表示されます。

設定画面	
🚔 ₩ATCH BOOT Setup	
WATCH BOOT Setup	00:09:EE:00:01:18
TCP/IP ネットワーク設定 IP アトシス 192.168.1.70 サフドネット マスク 255.255.00 デウォルト ケートウェイ 192.168.1.1 HTTP ポート 80 TELNET ポート 23	 機器情報(半角英数20文字) 機器名称 Noname Version 1.00A.060519 機器設定の管理 ごパスワード変更
HTTP 機能 ● 有効	✓ 設定を初期化する
- TELNET 機能 ● 有効	
Copyright 2006 明京電鐵總式会社	

⑤ 基本設定をします。

TCP/IPネットワーク設定

本機のネットワークに関する設定をします。					
IPアドレス	デフォルト	:	192.168.10.1		
サブネットマスク	デフォルト	:	255.255.255.0		
デフォルトゲートウェイ	デフォルト	:	0.0.0.0		
HTTP ポート	デフォルト	:	80		
TELNET ポート番号	デフォルト	:	23		

HTTP 機能	有効、	無効の選択
TENLET 機能	有効、	無効の選択

パスワード変更

「パスワード変更」ボタンをクリックします。パスワード変更画面が表示されます。 新しく設定するパスワードを2回入力し、「適用」ボタンをクリックします。 半角英数字で最大8文字まで指定できます。※細心の注意を払い管理してください。 デフォルト: magic

パスワード設定画面

🚔 WATCH BOOT Setup	
WATCH BOOT Setup	MAC アドレス 00:09:EE:00:01:18
-パスワード変更(半角英数8文字)- パスワード変2回入力してくた 1回目 2回目 変更後のパスワードは機器のRESETスイッチ又はDIF	ごさしい。
道用	=ャンセル

設定を初期化する

パスワードを含む全ての設定データをデフォルトに戻します。 「設定を初期化する」ボタンをクリックします。パスワードを含む全ての設 定データをデフォルトに戻します。

2) WEB による設定

設定用PCと本装置とは、10BASE-TにLANケーブルで接続します。

- 1) LAN や VPN 上に 192.168.10.1 および 2 の | Pアドレスを持つホスト がないことを確認します。 設定用 PC と本装置を 1 対 1 で接続する場合は必要ありません。
- 2)設定用 PC の | Pアドレスとネットマスクを以下の通り設定します。
 Win9x の場合は設定変更後、再起動が必要です。
 | Pアドレス : 192.168.10.2
 ネットマスク : 255.255.255.0
- 3)本体前面の RESET スイッチを押します。
- 4) 設定用 PC の Web ブラウザを起動します。 http://192.168.10.1 を指定し、本機にアクセスします。 機能設定のログイン画面が表示されます。

注意 ブラウザは JavaScript とフレームに対応している必要があ ります。

- 5) 接続する本装置にID、パスワードを入力します。 ID 「admin」(デフォルト)を入力します。 パスワード 「magic」(デフォルト)を入力します。
- 6) 簡易情報表示画面が表示されます。「通信設定」をクリックします。通信設定画面が表示されます。
- 7) ネットワーク設定の | P アドレス欄にご利用になる LAN に適切な | P アド レスを入力します。
- 8) 「適用」ボタンをクリックします。
- 9)本体前面の RESET スイッチを押します。
- 10) Web ブラウザを閉じます。
- 11)設定用 PC の I P アドレスを元に戻します。 Win9x の場合は設定変更後、再起動が必要です。

注意 設定後は、必ず「適用」をクリックし、「RESET スイッチ」を押し てください。クリックしてください。「RESET リセット」を押さ ないと設定が反映されません。 2. 初期化の方法

本装置を初期化して出荷状態に設定します。シリアル接続と TELNET 接続による方法があります。

- 2-1 シリアル接続による方法
 - 1) 本体前面のRS-232Cポートと設定用 PC のCOMポートを専用ケーブ ルで接続します。
 - 2) ターミナルソフトを起動し、ポート設定をします。
 通信速度 : 38400bps
 データビット : 7ビット
 ストップビット : 1ビット
 パリティ : なし
 - 3)本体前面の DIP スイッチ3 をON にします。
 - 4)本体前面のRESETスイッチを押します。
 - 5) 下図のとおり表示されます。

--- WATCH BOOT mini, Setup mode ---

password:

- 6) パスワードの要求があります。パスワード「magic」(デフォルト)を入力し < Enter >キーで実行します。
- 7) 下記の制御コマンドを入力しく Enter >キーで実行します。

「:i」 < Enter > 初期化コマンド 「:w」 < Enter > 保存コマンド

- 8)本体前面の DIP スイッチ3 をOFF にします。
- 9)本体前面の RESET スイッチを押します。

2-2 TELNET 接続による方法

設定用PCと本装置とは、10日ASE-TにLANケーブルで接続します。

- LAN や VPN 上に 192.168.10.1 および2のIPアドレスを持つホスト がないことを確認します。
 設定用 PC と本装置を1対1で接続する場合は必要ありません。
- 2)設定用 PC の I P アドレスとネットマスクを以下の通り設定します。 Win9x の場合は設定変更後、再起動が必要です。

IPアドレス	: 192.168.10.2
ネットマスク	: 255,255,255,0

- 4)本体前面の DIP スイッチ3 をON にします。
- 5)本体前面の RESET スイッチを押します。
- 6) TELNET を利用して初期設定をします。
 - 「スタート」から「ファイル名を指定して実行」を選択し、テキストボックスを開きます。
 - ② 以下のように指定し、本装置にアクセスします。

デフォルトの場合 IPアドレス : 192.168.10.1 TELNET ポート番号 : 23

- 「telnet_192.168.10.1_23」 ※アンダーバーはスペースを表します。
- ③ プログラムが起動し、下図のとおり表示されます。

--- Maintenance Mode ---

- ④ パスワードの要求があります。パスワード「magic」(デフォルト)を入力し
 < Enter >キーで実行しますと「IP address = ***.***.***」と現在の設定 値が表れます。
- ⑤ 下記の制御コマンドを入力しく Enter >キーで実行します。

「INIT」 < Enter >	初期化コマンド
「E」 < Enter >	通信終了コマンド

- 7)本体前面の DIP スイッチ3 をOFF にします。
- 8)本体前面の RESET スイッチを押します。

第 4 章 その他の設定 1. ターミナルソフトによる設定

- 1)本体前面のRS-232Cポートと設定用 PC のCOMポートを付属ケーブル で接続します。
- 2) ターミナルソフトを起動し、ポート設定をします。本装置のシリアル通信パ ラメーター(デフォルト)にあわせます。

通信速度 : 38400bps
 データビット : 7ビット
 ストップビット : 1ビット
 パリティ : なし

VERを入力し、〈Enter〉キーで実行します。
 します。ターミナルソフトと接続すれば、下図が表示されます。

ver . WATCH BOOT mini ********

********:ベージョン、更新日が表示されます。

- 4)設定します。 コマンドや変数などを入力しくEnter>キーで実行します。
- 5)設定内容を有効化します。 「write」コマンドを入力し、<Enter>キーを押します。

注意 設定変更後は、必ず「write」コマンドを実行してください。 コマンドがないと設定が反映されません。また項目により CPUリセット後に設定が反映されます。 設定は「CPURESET」コマンドまたは本体 RESET ボタン押下後 に反 映されます。CPUリセットにより履歴は消去されます。

6) 設定終了後、ターミナルソフトを閉じます。

シリアル通信のコマンドは TELNET と共通です。ただし PASS コマンドはご 利用いただけません。

2. TELNET による設定

- 1)「スタート」から「ファイル名を指定して実行」を選択し、テキストボックスを 開きます。
- 2)「初期設定」で設定した I P アドレスを以下のように指定し、本装置にアクセス します。

デフォルトの場合 IPアドレス : 192.168.10.1 TELNET ポート番号 : 23

「telnet_192.168.10.1_23」 ※アンダーバーはスペースを表します。

3) プログラムが起動し、下図のとおり表示されます。 「Noname」は機器名称の設定が反映されます。

220 WATCH BOOT (Noname) server ready

- 4) 任意のキーを入力します。パスワードが要求されます。
- 5)パスワードを入力し、<Enter>キーで実行します。「OK」の応答があります。
- 6)設定します。コマンドや変数などを入力しくEnter>キーで実行します。 (IPアドレスなど一部の設定は CPU リセット後に反映されます。)

■TELNET 通信のコマンド

コマンド	内容
LIST	全ての変数の値を表示します。
WRITE	変数の設定を FROM に書き込みます。
&SAVE	設定された変数の待避・復元ができるデータを出力します。
LOAD_BEGIN	設定データの読み込みを始めます。
LOAD_END	設定データの読み込みを終了します。
?変数名	変数の値を表示します。
.変数名二値	変数を設定し、設定された変数を表示します。
CPURESET	CPU をリセットします。(電源状態は変化しません。)
シホキルニーハーノート	

※変数については「■変数一覧表」参照

■「&SAVE」コマンドについて

環境(変数全体)を一括して待避・復元するためのコマンドです。 「&SAVE」を実行すると、最初に「LOAD_BEGIN」、それに続いて一連の変数 設定コマンド、最後に「LOAD_END」で設定データの読み込みを終了して、こ れをファイルに保存し、のちにファイルから入力すると、そのときの設定になり ます。パスワードなど、いくつかの変数は保存されません。ファイルをテキスト エディタで変更することもできます。なお、「&SAVE」は、エコーバックがあり ません。変数設定コマンドでは、エラーがあっても無くても表示しません。長い コマンドは分割されます。最後にハイフンがあると、次に継続することを意味し ます。ファイルからのコマンドを実行するときは、「promptMode」を0または 1とします。

■プロンプトやコマンドについて

TELNET からアクセスしたときは、コマンド入力のプロンプトが表示されます。 プロンプト表示の有無または表示形式は、コマンドで指定します。制御ユーティ リティでは、常に「>」のプロンプトが表示されます。また、「?」だけのコマン ドにより、ヘルプとしてコマンドの一覧を表示します。どのコマンドでも最初に 「&」をつけることによりエコーバックが無くなります。設定の取得、書き込み のときは、「promptMode」を0または1とします。

変数名 :	promptMode
-------	------------

値	
---	--

- : 0(プロンプト表示無し)
 : 1(「>」のプロンプト表示)
- : 2(「機器名>」のプロンプト表示)

第5章Webブラウザでの設定・制御

1. ログイン

インターネットでアクセスする場合は、通信機器の設定が必要です。 通信機器の設定などは通信機器のマニュアルに従ってください。 (PROXY 経由ではご利用になれません)

注意 ブラウザは JavaScript とフレームに対応している必要があ ります。

 Webブラウザを起動し、本機に設定されたIPアドレスを指定アク セスします。(例 IPアドレス : 192.168.10.1)

HTTPポート番号「80」デフォルトの場合 http://192.168.10.1

HTTPポート番号「500」に設定した場合 http://192.168.10.1:500

ログイン画面

ユーザID パスワード ログイン	
 プイン	
ユーザIDとバスワードを入力して「ログイン」ボタンをクリックしてくたさ	ください。

2) ユーザー名とパスワードを入力し、「ログイン」ボタンをクリックします。

ユーザー名 : admin (デフォルト) パスワード : magic (デフォルト)

3) 簡易情報表示画面が表示されます。

簡易情報表示画面

RPC-T4H Web Console [N]	Ioname] - Microsoft Internet Explorer	LO X
ファイル(E) 編集(E) 表示(V)	お気に入り値、ウール① ヘルプロ	
😋 🛤 • 🕥 • 💌 😫	🐔 🔎 የቁቱ 🧙 850:20 🤪 🔗 😓 🔟 • 🔜 🎇 🖓	
アドレス(D) 🎒 http://192.168.1.70	0/	→ 移動 リンク >>
Google -	💌 🖸 検索 🔹 🎦 egenRank 🖾 754 をブロックしました 🛛 🍼 チェック 🍷 🛃 オブション 🥜	
WATCH BOOT	商易情報表示	
状況表示項目 簡易情報表示	Outlet情報 温底状態	
監視状態表示 イベントログ表示 別約1万日	No アウトレット名称 状態 正常	
電源制御設定項目	2 Outer2 0.0 °C	
基本設定 セキュリティ設定	4 Outlet4	
通信設定 監視設定 スケジュール設定	機器情報	
メール設定 システム情報	機器名称 Norame	
CPUJZyh	接続ユーザー情報	
A0m0n 192.168.1.11	IP アドレス 192:160.1.11	
ログアウト 明京電視株式会社		
ページが表示されました	-	2-2-7

注意 簡易情報表示は現在の本装置の状態を表示する画面で実際に制御することは 出来ません。

2-1 基本設定

本装置および接続されたデバイスの名称を設定します。

1) 画面左側 設定項目の「基本設定」をクリックします。基本設定画示 されます。

基本設定画面

	基本設定
	機器設定
	PCによる時刻設定 時刻設定
	※ 入力項目は半角英数のみ有効
Ī	機器名称 Noname
	No. アウトレット名称 OFF遅延 再投入 ON遅延 1 Outlet1 0 秒 10 秒 1 秒 2 Outlet2 0 秒 10 秒 2 秒 3 Outlet3 0 秒 10 秒 3 秒 4 Outlet4 0 秒 10 秒 4 秒
	全アウトレット再投入 10 秒 ※OFF遺延巻「-1」にするとOFF操作を使用不可にします。 ※ON遅延を「-1」にすると自動で電源出力を開始しません。
_	適用 リセット

- 1 機器名称
 : 機器名称を設定します。
 半角英数字 20 文字以内
- ② アウトレット名称 : 個別アウトレットの名称を設定します。
 半角英数字 20 文字以内
- ③ OFF 遅延

個別アウトレットの電源出力を停止する際の OFF 遅延時間を設定します。 「-1」設定は、電源 OFF を禁止にしますのでルーターやハブなどの通 信機器を接続する場合に便利です。電源切断により、ネットワークへアク セスできなくなるケースを回避します。この時間は以下の操作を行う際に 適用されます。

- ・個別アウトレット制御のOFF操作
- ・全アウトレット制御のOFF操作

デフォルト	:	0
設定可能値	:	-1~3600(秒)
「 −1 」	:	アウトレット制御の OFF 操作を使用不可にし ます。再投入操作のみ可能です。
ГОЈ	:	即座に電源出力を停止します。
「 1~3600 」	:	指定した時間遅延させた後、電源出力を停止し ます。

④ 再投入

個別アウトレットの電源出力を停止してから開始するまでの時間を設定 します。この設定により、接続された任意のデバイスに最適なリブート時 間を確保できます。この時間は以下の操作を行う際に適用されます。

・個別アウトレット制御の再投入操作

デフォルト : 10設定可能値 : 8 ~ 3600(秒)

⑤ ON 遅延

個別アウトレットの電源出力を開始するまでの時間を設定します。この設定により、指定した順番に、指定したタイミングで個別アウトレットの電源出力を開始させることができます。この時間は以下の操作を行う際に適用されます。

・本体電源投入時

- ・全アウトレット制御のON操作
- ・全アウトレット制御の再投入操作

デフォルト	:	No.1-1 No.2-2 No.3-3 No.4-4
設定可能値	:	-1 ~ 3600(秒)
「−1 」	:	自動で電源出力を開始しません。
ГОЈ	:	即座に電源出力を開始します。
「1~3600 」	:	指定した時間遅延させた後、電源出力を開始します。

⑥ 全アウトレット再投入時間

全アウトレットの電源出力を停止してから電源出力を開始するまでの時間を設定します。この時間は以下の操作を行う際に適用されます。 注)個別アウトレットの再投入時間は反映されません。

・全アウトレット制御のリブート操作

デフォルト : 10設定可能値 : 8~3600(秒)

- 2) 設定が終了しましたら「適用」をクリックします。
- 3)機器設定の「時刻設定」をクリックすると、接続している PC の時刻に設定 できます。

注意 「適用」をクリックしないと設定した内容が有効になりません。

- 2-2 セキュリティ設定 本装置にセキュリティに関する設定をします。
 - 1)「セキュリティ設定」をクリックします。セキュリティ設定画面が表示されます。

1	_		_	※ 入ナ	」項目は半角英数のみ有
pent	ID	Pacowowd	No	ID	Bacquerel
0.		Passworu	NO.		Passworu
		-	7		-
					-
1			9		- [
			10		-
		I			1
ontro	əl				
lo.	ID	Password	No.	ID	Password
			6		
2			7		
3			8		
4			9		
ī			10		
_					
dmin					
0.	ID	Password	No.	ID	Password
adm	in		4		
2			5		
- b	1	n			
27F 1	リティ機能語	х́Е			

セキュリティ設定画面

- Ident
 : システム情報の取得のみ
※ 最大 10 件登録

 Conrol
 : システム情報の取得及び電源の制御のみ
※ 最大 10 件登録

 Admin
 : 全ての権限(システム情報の取得、電源の制御、設定)
※ 最大 5 件登録
- D:最大8文字(重複不可)(@は不可)パスワード:最大32文字(重複可)
- 2) キーファイルを有効にチェックするとキーファイルを使い暗号 化通信が有効になります。
- キーファイル

セキュリティのために、キーファイルが使われます。制御ユーティリティで本 装置に初めてアクセスすると、自動的に固有のキーコードが生成され、本装置 に設定されると共に、PCの制御ユーティリティと同じフォルダ内にキーファ イルが作られます。ファイル名は、KEYFILE.KTFです。これ以後は、このフ ァイルが無いとアクセスできません。他のPCで制御ユーティリティを使う場 合は、このファイルもコピーする必要があります。キーファイル有効は、変数 [keyCheck=1]です、TELNET で変数を変更して[keyCheck=0]にすると無 効にできます。また、変数「keyCode=⁷⁷」としますと、本装置内部のキーフ ァイルをクリアしてデフォルトに戻すことができます。(デフォルト:キーフ ァイル無効)

3)TELNET通信を有効設定にチェックするとTELNET通信が可能になります。

4)設定が終了しましたら「適用」をクリックします。

注意「適用」をクリックしないと設定した内容が有効になりません。TELNET の有効・無効は、「CPU リセット」をクリックしないと反映されません。 なお、「CPU リセット」をクリックすると通信が切断されます。

2-3 通信設定

本装置のネットワークに関する設定をします。 1)「通信設定」をクリックします。通信設定画面が表示されます。

通信設定			
基本設定	詳細設定		
	※ 入力項目は半角英数のみ有効		
ネットワーク設定			
IPアドレス	192.168.1.70		
ネットマスク	255.255.255.0		
デフォルトゲートウェイ	192.168.1.1		
DNSサーバーアドレス	0.0.0.0		
NTPサーバーアドレス	210.173.160.27		
HTTP機能	<u>● 有効 C 無効</u>		
НТТРボート	80		
TELNET機能	● 有効 ○ 無効		
TELNETホート	23		
TELNET中継先 IP	0.0.0.0		
TELNET中継先 ボート	23		
※ネットワーク設定はCPUJセッ	ト後に有効になります。		
関連項目 無通信タイマー(秒) WEB自動更新機能 WEB自動更新間隔(秒)	[600 ← 有効		
PPPoE設定			
PPPoE接続方法 PPPoEユーザーID PPPoEパスワード	C 常時 でコマンド		
Wake On LAN設定			
アウトレット1 MACアドレス アウトレット2 MACアドレス アウトレット3 MACアドレス アウトレット4 MACアドレス パケット送信回数 パケット送信間隔(秒)	00:00:00:00:00:00 00:00:00:00:00:00 00:00:		
適用 リセット			

ネットワーク設定

通信設定画面

IPアドレス	デフォルト	:	192.168.10.1
サブネットマスク	デフォルト	:	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	デフォルト	:	0.0.0
DNSサーバアドレス	デフォルト	:	0.0.0
NTP サーバアドレス	デフォルト	:	0.0.0
HTTP 機能		:	有効 無効
HTTP ポート	デフォルト	:	80
TELNET 機能		:	有効 無効
TELNET ポート	デフォルト	:	23

TELNET 中継先 IP	デフォルト	:	0.0.0.0
TELNET 中継先ポート	デフォルト	:	23

関連項目

無通信タイマー	: 無通信の時間を設定します。
WEB 自動更新機能	: 有効、無効を設定します。
WEB 自動更新間隔	: WEB 自動更新間隔の時間を設定します。

PPPoE 設定

接続方法 コマンド接続か常時接続かを選択します。 ユーザーID : 指定されたユーザーID を入力します。 パスワード : 指定されたパスワードを入力します。

※PPPSTA や LOG コマンドで接続を確認できます。「PPPoE の使用」を参照

WakeOnLan設定

アウトレット 1~4MAC アドレス	デフォルト	:	00:00:00:00:00:00
パケット送信回数	デフォルト	:	2 (0)
パケット送信間隔(秒)	デフォルト	:	15

2) 設定が終了しましたら「適用」をクリックします。

3) 次に「CPU リセット」をクリックします。

注意 「CPU リセット」をクリックしないと設定した内容が有効になりません。必ず「CPU リセット」ボタンをクリックしてください。設定した IP アドレスを必ず記録してください。なお、「CPU リセット」をクリックすると通信が切断され、IP アドレスも変更されます。また IP フィルタを有効にすると設定した IP アドレス以外からの接続ができなくなります。
2-4 監視設定

本装置の PING 監視、温度監視に関する設定をします。

1)「監視設定」をクリックします。

2) 監視方式を「PING監視」、「温度監視」から選択します。

3) PINGによる 死活 監視

本装置に接続されたデバイスの状態監視機能の設定をします。監視設定されたデバイスに対し、PING送信間隔で状態確認(ping)を行い、設定した[送信回数]内で設定した[無応答回数]、無応答であった場合に異常と判断します。異常と判断された IP アドレスが「対象数」に達すると、異常と判定し、設定された[動作]を実行します。



監視設定(PIN	G監視)画面					
監視設定						
PING監視	温度監視					
	※ 入力項目は半角英数のみ有効					
IPFFUX 送信 無合 対象 1 0.00.0 [10 10 1 2 1 2 0.00.0 動作 3 4 0.00.0 無約作 1	温度監視が有効になっています。					
IP7ドレス 送信 無答 対象 1 0000 10 10 1 ▼ 2 0000 和作	温度監視が有効になっています。					
a 0.000 mm F 4 0.000 無動作 文 ping送信問隔(分) 1						
	<u>91228</u>					

- Pアドレス : 監視するIPアドレスを設定します。
 個別アウトレットに最大4アドレス設定できます。
- ② 送信
 PINGの送信回数を設定します。
 1~100の整数
- ③ 無答
 : 送信回数内で異常と判断する Ping の無応
 答回数を設定します。
 1~100の整数
- ④ 対象 : 動作を実行させるための異常 | Pアドレスの数を設定します。
 1~4
- ⑤ 動作: 動作を選択します。
無動作一一一ログのみ
- ⑥ ping 送信間隔
 ? PING の送信間隔を設定します。
 1~60 の整数
- 4) 設定が終了しましたら「適用」をクリックします。

注意 応答のない状態が続いた場合は、約1時間毎に設定された動作を実行します。再度、条件が成立しても動作は1時間に1度しか実行しません。

監視設定(温度監視)画面



6) 本装置と温度センサーを温度センサー付属のケーブルで接続し ます。

温度に関する設定をします。

①上限警報	:	高温の警報温度を設定します。				
		(デフォルト:45℃)				
② 上限注意	:	高温の注意温度を設定します。				
		(デフォルト:35℃)				
③ 上限H y s	:	高温のヒステリシス温度を設定します。				
		(デフォルト: 2℃)				
④ 下限警報	:	低温の警報温度を設定します。				
		(デフォルト:−5℃)				
⑤ 下限注意	:	低温の注意温度を設定します。				
		(デフォルト: 0℃)				
⑥ 下限H y s	:	低温のヒステリシス温度を設定します。				
		(デフォルト: 2℃)				
⑦ 動作	:	警報の時の動作を設定します。				
		無動作 上限警報ON 下限警ON				
		上限警報OFF 下限警OFF				
温度範囲(測定温度範	通は-	10~80°C)				
① 正常範囲	:	下限注意から上限注意までの温度				

 ② 注意範囲
 ※ 上限注意から上限警報までの温度 下限警報から下限注意までの温度
 ③ 異常範囲
 ※ 上限警報以下の温度 下限警報以下の温度

7) 温度センサーを利用する	:	チェックすると温度センサーが利用でき、
		温度データを表示します。
8) メンテナンス	:	チェックすると電源制御を行わない

注意 同じアウトレットで同時に「PING 監視」と「温度監視」を行うことは 出来ません。 2-5 スケジュール設定

本装置のスケジュールに関する設定をします。最大 20 件登録できます。

1)「スケジュール設定」をクリックします。

フ	スケジュール設定画面							
	スケシ	シュール 設定	-					
スケシュールリ								
No. 有效	別 アウトレット	曜日	時分	アクション				
1 🗖	全アウトレット 💌	每日 💌	0 0	無動作 ▼				
2 🗖	全アウトレット 💌	毎日 ▼	0 0	無動作 👤				
3 🗖	全アウトレット 💌	毎日 💌	0 0	無動作 👤				
4 🗖	全アウトレット 💌	每日 💌	0 0	無動作 👤				
5 🗖	全アウトレット 💌	每日 💌	0 0	無動作 ▼				
6 🗖	全アウトレット 💌	每日 💌	0 0	無動作 ▼				
7 🗖	全アウトレット 💌	每日 💌	0 0	無動作 💌				
8 🗖	全アウトレット 💌	每日 💌	0 0	無動作 ▼				
9 🗖	全アウトレット 💌	毎日 💌	0 0	無動作 ▼				
10 🗖	全アウトレット 💌	毎日 💌	0 0	無動作 ▼				
11 🗖	全アウトレット 💌	毎日 💌	0 0	無動作 ▼				
12 🗖	全アウトレット 💌	每日 💌	0 0	無動作 ▼				
13 🗖	全アウトレット 💌	每日 💌	0 0	無動作 ▼				
14 🗖	全アウトレット 💌	每日 💌	0 0	無動作 💌				
15 🗖	全アウトレット 💌	每日 💌	0 0	無動作 ▼				
16 🗖	全アウトレット 💌	毎日 💌	0 0	無動作 👤				
17 🗖	全アウトレット 💌	毎日 👤	0 0	無動作 👤				
18 🗖	全アウトレット 💌	毎日	0 0	無動作 👤				
19	全アウトレット 💌	毎日 👤	0 0	無動作 👤				
20 🗖	全アウトレット 💌	每日 👤	0 0	無動作 💌				

適用 リセット

	1	有効		:	設定	したタ	イマー	の有効	/無効	
					チ:	ェックし	った No	が有效	动になり)ます。
	2	アウトレ	ット	:	制御	するア	ウトレ	ット N	lo.	
	~				全江	アウトし	ノット、	アウト	-レッ	- 1~4
	3	曜日		:	実行	する曜	日(毎	日また	は指定	曜日)
	_		毎日	日曜	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
	(4)	時		実行	する時	間				
		<i>(</i>)			/	0~	23			
	(5)	分	:	実行	するケ) -				
				/-		0~	59			
	6)	アクション	ソ	こ 実行	すする重	动作				_
				無動	作リ	ブート	電源C	N 電	源OFF	Ξ
3)		設定が終了	'しま	したら	「適用」	」をクリ	ノック	します。	b	

注意 スケジュール設定を使う場合は NTP サーバの設定が必要になります。 基本設定で設定してください。 NTP サーバの接続に失敗した場合はエラーメッセイジーが表示され ます。 2-6 メール設定

監視機能で異常時および復旧時にメールを送信するアドレスを設定します。

1)「メール設定」をクリックします。

メール設定画面

メール認	定
	※ 入力項目は半角英数のみ有効
メールサーバー設定	
ユーザ1D バスワード メールアドレス POP3サーバー名 SMTPサーバー名 自動ログアウト時間(分) メールチェック間隔(分) APOP利用	「 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」
エラーメッセージ情報	クリアロ

No.	通知先アトレス	外沽	温度
アドレス1			
アドレス2			
アドレス3			
アドレス4			
アドレス5			
アドレス6			
アドレス7			
アドレス8			

メールサーバ設定

ユーザー名、パスワード、メールアドレス、POP サーバ名、SMTP サーバ名は、プロ バイダからのメール資料に基づき設定します。 自動ログアウト時間(分)

(デフォルト: 10 分)

メールチェック間隔(分)

(デフォルト:3分)

APOP有効

APOPの有効、無効。

エラーメッセージ情報

エラーメッセージの内容が表示されます。

通知先設定

①通知先アドレス

通知するメールアドレスを設定します。 最大8件設定できます。

2 死活

チェックをつけたアドレスに PING 監視情報メールします。 死活監視の判定が[異常]または[回復]に変化するとメールを送信します。

③ 温度

チェックをつけたアドレスに温度監視情報をメールします。 温度状態が変化した時にメールを送信します。

2) 設定が終了しましたら「適用」をクリックします。

注意 「適用」ボタンをクリックしないと設定した内容が有効になりません。

2-7 システム情報

本装置に設定された各項目の概要情報を一覧で確認できます。

1)「システム情報」をクリックします。

システム情報画面

システム情報					
システム基本					
機器名称	Noname				
バージョン	1.00A.060519				
モデル名	RPC-T4H				
アウトレット1名称	Outlet1				
アウトレット2名称	Outlet2				
アウトレット3名称	Outlet3				
アウトレット4名称	Outlet4				
機器内部時間	2006/05/29 21:18:15				
MACアドレス	00:09:EE:00:01:18				
IPアドレス	192.168.1.70				
サブネットアトレス	255.255.255.0				
デフォルトゲートウェイ	192.168.1.1				
NTPサーバーアドレス	210.173.160.27 (OK)				
HTTP機能	有効				
HTTPボート	80				
TELNET機能	有効				
TELNETボート	23				
RS-232C 通信速度	38400 bps				
RS-232C キャラクター長	7 bits				
RS-232C ストップビット	1 bit(s)				
RS-232C バリティ	None				

- 2-8 CPU リセット本装置の設定変更を有効にします。
 - 1)「CPU リセット」をクリックします。 CPU リセット画面



2) CPU リセット画面の「CPU リセット」をクリックします。

注意 「CPU リセット」をクリックすると設定した内容が有効になり、イベ ントログの内容は消去されます。 なお、「CPU リセット」ボタンをクリックすると通信が切断されます が、アウトレットの状態は現状のまま保持されます。IP アドレスも変 更されます。

3-1 簡易情報表示

1)「簡易情報表示」をクリックします。

簡易状態表示画面



注意 簡易情報表示は現在の本装置の状態を表示する画面で実際に制御することは 出来ません。

3-2 監視状態表示

1)「監視状態表示」をクリックします。

監視状態表示画面

No.	電源	Ā	PING判定 温度判定		PING判定 温度判定		PING判定 温度判定		PING判定 温度判定		PING判定 温度判定		PING判定 温度判定		' 送信数 動作設定		無応 警報	答 温度	対象数 注意温度	動作 Hys温度	実行数 現在温度
1	ON		正常		10		10		1	無動作	0										
2	ON	I)	正常		10		10 10		1	無動作	0										
З	ON		正常		上限OFF		F 30 °C		25 °C	5 °C	0.0°C										
4	ON		正常		上限OFF		FF 30 °C		1 °C	5 °C	0.0°C										
	IPアドレス1			IPアドレス2			IP	アドレス3	IPアドレス4												
No.	状態	無	む答数	状	態	無応答	数	状態	無応答数	(状態	無応答数										
1																					
2																					
З																					
4																					

1	電源	:	電源の状態を表示します。
2	PING 判定 温度判断	:	PING 監視の判定結果を表示します。 温度監視の判断結果を表示します。
3	送信数 動作設定	:	PING 監視の PING 送信回数を表示します。 温度監視の動作設定を表示します。
4	無応答 警報温度	:	PING 監視の無応答回数を表示します。 温度監視の警報温度を表示します。
5	対象数 注意温度	:	PING 監視の対象数を表示します。 温度監視の注意温度を表示します。
6	動作 Hys 温度	:	PING 監視の動作の内容を表示します。 温度監視のヒステリシス温度を表示します。
7	実行数 現在温度	:	PING 監視の実行された動作の回数を表示します。 温度監視の現在温度を表示します。
8	状態	:	最新 Ping の応答結果を表示します。 アウトレット毎に各IPアドレスの応答状態を表示しま す。

3-3 イベントログ表示

1)「イベントログ表示」をクリックします。

イベントログ表示画面

イベントログ表示		更新
ログリスト		
表示領域 1~1(総数1) 2006/05/29 21:00:12		
1 2006/05/29 21:00:12 ログ開始	admin	A
		-
前ページ 次ページ 先頭ページ 最終ページ	全口グクリア	

2) 「更新」を押すと最新状態に更新します。

① 前ページ	:	前ページを表示します。
② 次ページ	:	次ページを表示します。
③ 先頭ページ	:	先頭ページを表示します。

- ④ 最終ページ : 最終ページを表示します。
- ⑤ 全ログクリア : ログを消去します。

注意 1 ページは 100 項目単位で表示します。最大 10 ページ、1000 項目のログを表示可能です。 本装置に接続されたデバイスの電源制御をします。

1)「電源制御」をクリックします。

電源制御画面

No.	アウトレット名称	電源制御 状態
1	Outlet1	ON OFF REBOOT
2	Outlet2	ON OFF REBOOT
з	Outlet3	
4	Outlet4	
	全アウトレット	ON OFF REBOOT

①電源状態

現在の電源の状態を表します。 (更新されないと最新の状態が表示されません。)

②個別アウトレット制御の動作

ON	:	電源出力を開始します。
OFF	:	電源出力を停止します。
REBOOT	:	電源出力をリブートします。

③ 全アウトレット制御の動作

- ON : 全アウトレットの電源出力を開始します。
- OFF : 全アウトレットの電源出力を停止します。
- REBOOT : 全アウトレットの電源出力をリブートします。

④「更新」をクリックすると最新の電源状態を取得します。

注意 「更新」をクリックしないと画面表示とアウトレットが違う場合があ りますので電源状態は「更新」をクリックして最新の状態を確認して ください。 全アウトレット ON の時、個別アウトレットは1秒の間隔で ON しま す。(遅延時間、デフォルト) REBOOTのOFF時間は10秒です。(デフォルト) 遅延時間、OFF時間及びOFF禁止などの設定は変数の変更により可能で す。詳細は変数一覧表を参照してください。

第6章 ユーティリティ での設定・制御 ユーティリティソフトを起動します。初期画面が表示されます。
 ユーティリティソフトは Windows2000/XP 専用のソフトです。
 なお、Windows2000/XP は MicrosoftCorporation の登録商 標です

初期画面
WB Utility 2.00
WATCH BOOT 制御Utility
接続IPアドレス ユーザーID バスワード パスワードを記憶 □ パスワード記録全削除
接続 中止 終了 (C) 2006 Meikyo Electric inc.

① 接続IPアドレス

接続する機器のIPアドレスを入力します。

② 接続アドレスボタン

ー度接続されたIPアドレスを最大8個まで記憶します。記憶が複数になると、「接続アドレス」のラベルがボタンになります。ボタンをクリックしてIPアドレスのリストを表示させます。リストから接続するIPアドレスを選択します。また、アドレスを削除する場合は、削除するアドレスを選択し、BackSpaceキーを押します。

③ I D、パスワード

接続する本装置の制御ユーティリティ用パスワードを入力します。 ID 「admin」(デフォルト)を入力します。 パスワード「magic」(デフォルト)を入力します。

④ パスワードを記憶

チェックを入れるとパスワードを記憶します。

注意 同時に複数の PC からアクセスできますが、先に他のユーザーが開い た設定画面は、そのユーザーが通信を終了するまで開くことはでき ません。

2)「接続」ボタンをクリックします。簡易情報表示画面が表示されます。

📴 WB Utility 1.00		<u>_ </u>
状態表示項目	セキュリティ 通信設定 監視設定 スケジュール設定 . 簡易情報表示 監視状態表示 イベントログ表示	メール設定 システム情報 電源制御 基本設定
簡易情報表示	簡易情報表示	
 監視状態表示 イベントログ表示 制御項目 電源制御 設定項目 基本設定 	Outlett番報 アウトレット名称 状態 1 Outlet1 ①N 2 Outlet2 ①N 3 Outlet3 ①N	温度状態 正常 0.0 ℃ 日時 2006年 6日 3日(+)
セキュリティ	4 Outlet4	20時 30分
通信設定 監視設定 スケジュール設定 メール設定	- 機器換配 - 機器名称 Noname - 接続ユーザー情報	
システム情報	ユーザー名 admin	
通信中継 コマンド	アクセス権限 Admin	
CPU リセット 切断 終了	サポートWEBサイトへ	更新

簡易情報表示画面

注意 簡易情報表示は現在の本装置の状態を表示する画面で実際に制御することは 出来ません。

2-1 基本設定

本装置および接続されたデバイスの名称を設定します。

1)「基本設定」ボタン、又は「基本設定」タブをクリックします。基本設定画面 が表示されます。

	基本設定画面
🔛 WB Utility 1.00	
状態表示項目	セキュリティ 通信設定 監視設定 スケジュール設定 メール設定 システム情報 簡易情報表示 監視状態表示 イベルログ表示 電源制御 基本設定
簡易情報表示	基本設定
監視状態表示	┌機器基本 (※半角英数20文字のみ登録できます)
イベントログ表示	機器名称 Noname
制御項目	全アウトレット再投入 10 秒
電源制御	アウトレット名称 OFF遅延 再投入 ON遅延
設定項目	1 Outlet1 0 秒 10 秒 1 秒
基本設定	2 Outlet2 0 秒 10 秒 2 秒
セキュリティ	3 Outlet3 0 秒 10 秒 3 秒
通信設定	4 Outlet4 0 秒 10 秒 4 秒
監視設定	
スケジュール設定	
メール設定	
システム情報	
通信中維	
אלבר	
CPU Utzyk	
Linter L	
19JB/T	28.00
松了	

① 機器名称	:	機器名称を設定します。
		半角英数字 19 文字以内
② 全アウトレット	:	全アウトレット再投入時間を設定します。
再投入		デフォルト:10 秒
③ 全アウトレット	:	各アウトレットの名称を設定します。
名称		半角英数字 20 文字以内
④ OFF遅延	:	各アウトレットのOFF遅延時間を設定します。
		テノオルト:〇秒
⑤ 再投入	:	各アウトレットの再投入時間を設定します
		デフォルト:10 秒
⑥ ON遅延	:	各アウトレットのON遅延時間を設定します。

2) 設定が終了しましたら「適用」ボタンをクリックします。

注意 「適用」ボタンをクリックしないと設定した内容が有効になりません。

2-2 セキュリティ設定

本装置にセキュリティに関する設定をします。

1)「セキュリティ設定」ボタン、又は「セキュリティ設定」タブをクリックします。 セキュリティ設定画面が表示されます。

🛄 WB Utility 1.00	
状態表示項目	
簡易情報表示	セキュリティ設定
監視状態表示	Ident
イベントログ表示	ID Password ID Password
制御項目	2 7
電源制御	8
設定項目	8
基本設定	
セキュリティ	Control ID Receivered ID Receivered
通信設定	
監視設定	2 7 7
スケジュール設定	8
メール設定	8
システム情報	
通信中維	Admin
コマンド	ID Password ID Password
CPU V セット	
切断	
終了	□ キーファイル有効適用適用

- i d e n t
 ジステム情報の取得のみ
 ※ 最大 10 件登録
 c o n t r o l
 ジステム情報の取得及び電源の制御のみ
 ※最大 10 件登録
 a d m i n
 全ての権限(システム情報の取得、電源の制御、設定)
 ※最大5件登録
 - D: 最大8文字(重複不可)(@は不可)パスワード: 最大32文字(重複可)
- 2) キーファイルを有効にチェックするとキーファイルを使い暗号化通信が有効 になります。

キーファイル

セキュリティのために、キーファイルが使われます。制御ユーティリティで本装置 に初めてアクセスすると、自動的に固有のキーコードが生成され、本装置に設定さ れると共に、PCの制御ユーティリティと同じフォルダ内にキーファイルが作られ ます。ファイル名は、KEYFILE.KTF です。これ以後は、このファイルが無いと アクセスできません。他のPCで制御ユーティリティを使う場合は、このファイル もコピーする必要があります。キーファイル有効は、変数[keyCheck=1]です、 TELNET で変数を変更して[keyCheck=0]にすると無効にできます。また、 変数「keyCode=^{""}」としますと、本装置内部のキーファイルをクリアしてデフォ ルトに戻すことができます。(デフォルト:キーファイル無効)

3)TELNET通信を有効設定にチェックするとTELNET通信が可能になります。

4)設定が終了しましたら「適用」ボタンをクリックします。

注意 「適用」ボタンをクリックしないと設定した内容が有効になりません。 TELNET の有効・無効は、「CPU リセット」ボタンをクリックしない と反映されません。

2-3 通信設定

本装置のネットワークに関する設定をします。

- 2-3-1 ネットワーク
 - 1)「通信設定」ボタン、又は「通信設定」タブをクリックし、「ネットワーク」 ボタンをクリックします。通信設定画面(ネットワーク)が表示されます。

	通信設定画面(ネットワーク)
💹 WB Utility 1.00	
状態表示項目	
簡易情報表示	通信設定
監視状態表示	ネットワーク 関連項目/WOL 状態通知/PPPoE IPフィルター
イベントログ表示	
制御項目	IPアドレス 192,168,1.70
電源制御	ネットマスク 255.255.0
設定項目	デフォルトゲートウェイ 192.168.1.1
基本設定	DNSサーバアドレス 0.0.0.0
セキュリティ	NTPサーバアドレス 210.173.160.27
通信設定	HTTP機能 ● 有效 ○ 無効
監視設定	HTTPポート 80
スケジュール設定	TELNET機能 C 有效 C 無效
メール設定	TELNETポート 23
システム情報	TELNET中維先 IP 0.0.0.0
通信中維	TELNET中継先 ボート 23
コマンド	・ネットワークの設定はCPUリセット後に有効になります。
0000298	
切断	
終了	適用

IPアドレス	デフォルト	:	192.168.10.1
ネットマスク	デフォルト	:	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	デフォルト	:	0.0.0.0
DNSサーバアドレス	デフォルト	:	0.0.0.0
NTP サーバアドレス	デフォルト	:	0.0.0.0
HTTP 機能	機能の有効、無効		
HTTP ポート	デフォルト	:	80
TELNET 機能	機能の有効、無効		
TELNET ポート	デフォルト	:	23
TELNET 中継先 IP	デフォルト	:	0.0.0.0
TELNET 中継先ポート	デフォルト	:	23

2) 設定が終了しましたら「適用」ボタンをクリックします。

3) 次に「CPU リセット」ボタンをクリックします。

2-3-2 関連項目/WOL

1)「通信設定」ボタン、又は「通信設定」タブをクリックし、「関連項目/WOL」 ボタンをクリックします。通信設定画面(関連項目/WOL)が表示されます。

🛄 WB Utility 1.00	
状態表示項目	
簡易情報表示	通信設定
監視状態表示	ネットワーク 関連項目/WOL 状態通知/PPPoE IPフィルター
イベントログ表示	
制御項目	展送4月日 毎時信々イマー(秒) 800
電源制御	WEB自動更新機能 ○ 有効 ⑥ 無効
設定項目	WEB自動更新間隔(秒) 30
基本設定	
セキュリティ	Wake On LAN設定
通信設定	MACアドレス
監視設定	1 00:00:00:00:00 パケット送信回数 2
スケジュール設定	2 00:00:00:00:00 パケット送信間隔(秒) 15
メール設定	3 00:00:00:00:00
システム情報	4 00:00:00:00:00
通信中維	
コマンド	
CRUUHzah	
切断	
終了	適用

通信設定画面(関連項目/WOL)

無通信タイマー(秒)デフォルト: 600WEB 自動更新機能機能の有効、無効WEB 自動更新間隔(秒)デフォルト: 30WakeOnLan 設定MAC アドレス各アウトレットごとに設定できます。パケット送信回数デフォルト: 2パケット送信間隔(秒)デフォルト: 15

2) 設定が終了しましたら「適用」ボタンをクリックします。

3)次に「CPU リセット」ボタンをクリックします。

2-3-3 状態通知/PPPoE

1)「通信設定」ボタン、又は「通信設定」タブをクリックし、「状態通知/PPPoE」 ボタンをクリックします。通信設定画面(状態通知/PPPoE)が表示されます。

🔢 WB Utility 1.00	
状態表示項目	
簡易情報表示	通信設定
監視状態表示	ネットワーク 関連項目/WOL 状態通知/PPPoE IPフィルター
イベントログ表示	
制御項目	状態通知機能 ● 有効 ● 無効
電源制御	通知先センターIP1 0.0.0.0
設定項目	通知先センターボート1 5000
基本設定	通知先センターIP2 0.0.0.0
セキュリティ	通知先センターボート2 <mark>5000</mark>
通信設定	通知先センターIP3 0.0.0.0
監視設定	通知先センターボート3 5000
スケジュール設定	送信間隔 300
メール設定	
システム情報	_ PPPoE設定
通信中維	PPPoE接続方法 〇 常時 〇 コマンド
コマンド	PPPoEユーザーID
CPUリセット	PPPoEバスワード
切断	
終了	道用

通信設定画面(状態通知/PPPoE)

状態通知機能

状態通知機能	機能の有効、無効		
通知先センターIP1	デフォルト	:	0.0.0.0
通知先センターポート 1	デフォルト	:	5000
通知先センターIP2	デフォルト	:	0.0.0.0
通知先センターポート 2	デフォルト	:	5000
通知先センターIP	デフォルト	:	0.0.0.0
通知先センターポート 3	デフォルト	:	5000
送信間隔	デフォルト	:	300

PPPoE 設定

PPPoE 接続方法 PPPoE ユーザーID PPPoE パスワード 常時、コマンドの選択

2) 設定が終了しましたら「適用」ボタンをクリックします。

3) 次に「CPU リセット」ボタンをクリックします。

2-3-4 IPフィルター

1)「通信設定」ボタン、又は「通信設定」タブをクリックし、「IP フィルター」 ボタンをクリックします。通信設定画面(IP フィルター)が表示されます。

😗 WB Utility 1.00	
状態表示項目	
簡易情報表示	通信設定
監視状態表示	ネットワーク 関連項目/WOL 状態通知/PPPoE IPフィルター
イベントログ表示	
制御項目	
雷源制御	IPフィルタ機能 0 有効 (● 無効)
設定項目	78021 0.0.0
axie-A C	7 1 1 2 0.0.0
基本設定	アドレス3 0.0.0.0
セキュリティ	アドレス4 0.0.0.0
通信設定	アドレス5 0.0.0.0
監視設定	アドレス6 0.0.0.0
スケジュール設定	アドレス7 0.0.0.0
メール設定	アドレス8 0.0.0.0
システム情報	アドレス9 0.0.0.0
通信中維	アドレス10 0.0.0.0
コマンド	
CPUリセット	
切断	
終了	適用

通信設定画面(IP フィルター)

IP フィルター設定

P フィルター設定	Ē	機能の有効、	無効		
アドレス1 -1	10	デフォルト		:	0.0.0.0
10 箇所まで	のアドレスを設	定できます。			

- 2) 設定が終了しましたら「適用」ボタンをクリックします。
- 3) 次に「CPU リセット」ボタンをクリックします。

2-4 監視設定

本装置の PING 監視、温度監視に関する設定をします。

1)「監視設定」ボタン、又は「監視設定」タブをクリックします。

2) 監視方式を「PING監視」、「温度監視」から選択します。

3) PINGによる死活監視

本装置に接続されたデバイスの状態監視機能の設定をします。監視設定されたデバイスに対し、PING送信間隔で状態確認(ping)を行い、設定した[送信回数] 内で設定した[無応答回数]、無応答であった場合に異常と判断します。異常と判 断された IP アドレスが「対象数」に達すると、異常と判定し、設定された[動作] を実行します。



🛄 WB Utility 1.00	
状態表示項目	
簡易情報表示	監視設定
監視状態表示	監視方法
イベントログ表示	● PING監視 ○ 温度監視
制御項目	PINGによる死活監視
電源制御	
設定項目	IPアドレス 送信 無答 対象 1 0.0.0.0 10 1 ▼
基本設定	2 0.0.0.0 温度監視が有効になっています。
セキュリティ	3 0.0.0.0 動作 3
通信設定	4 0.0.0.0 無動作 💌
監視設定	▲ アウトレット番号 [送信] 送信回数 [無答] 無応答回数 [対象] 監視対象数
スケジュール設定	IPアドレス 送信 無答 対象
メール設定	2 0.0.0.0 10 10 1 ▼ 2 0.0.0.0 2 0.0.0 2 0 10 1 ▼
システム情報	2 3 0.0.0.0 動作 4
通信中維	4 0.0.0.0 無動作 🔽
אעקב	·····································
CPU Utzył	・送信はPINGを送信する回数です。 ・無答は送信回数内で異常と判断する無応答回数です。
切断	・対象は死活監視を判定するためのIPアドレスの数です。
終了	異常なIPアドレスが対象数に達すると「動作」を実行します。 適用 適用

PING監視画面

異常

- ① IP アドレス : 監視する IP アドレスを設定します。 各アウトレットに最大4アドレス設定できます。 ② 送信 : Ping の送信回数を設定します。 1~100の整数 ③ 無答 送信回数内で異常と判断する Ping の無応答回数を設 : 定します。 1~100の整数 動作を実行させるための異常IPアドレスの数を設 ④ 対象 : 定します。 1~4 ⑤ 動作 : 動作を選択します。 無動作 リブート ログのみ ⑥ PING 送信間隔 : PING の送信間隔を設定します。 1~60の整数
- 4) 設定が終了しましたら「適用」ボタンをクリックします。
 - 注意 応答のない状態が続いた場合は、約1時間毎に設定された動作を 実行します。再度、条件が成立しても動作は1時間に1度しか実 行しません。

5) 温度状態の監視

温度監視画面

🕎 WB Utility 1.00	
状態表示項目	
簡易情報表示	監視設定
監視状態表示	監視方法
イベントログ表示	C PING監視 ● 温度監測
制御項目	 温度状態の監視
電源制御	□ 温度センサーを利用する □ メンテナンスモード
設定項目	
基本設定	アウトレット3をOFFします
セキュリティ	1 動作 3 動作
通信設定	無動作 ▼ 上限警報OFF ▼
監視設定	▲ アウトレット番号
スケジュール設定	
メール設定	動作しません。 温度が 30°C以上になった場合 アウトレット4をOFFします
システム情報	2 動作 4 動作
通信中維	無動作 ▼ 上限警報OFF ▼
コマンド	上限警報 30 → 下限警報 -10 → 工 ↔
CPUリセット	
切断	
終了	適用

6) 本装置と温度センサーを温度センサー付属のケーブルで接続します。

温度に関する設定をします。

①上限警報	•	高温の警報温度を設定します。
② 上限注意	:	高温の注意温度を設定します。
③ 上限H y s	:	高温のヒステリシス温度を設定します。
④下限警報	:	低温の警報温度を設定します。
⑤ 下限注意	:	低温の注意温度を設定します。
⑥ 下限H y s	:	低温のヒステリシス温度を設定します。
⑦ 動作	:	警報の時の動作を設定します。 無動作 上限警報 ON 下限警報 ON 上限警報 OFF 下限警報 OFF

温	度範囲(測定温度範	囲は-	10~80°C)
1	正常範囲	:	下限注意	から上限注意までの温度
2	注意範囲	:	上限注意 下限警報	から上限警報までの温度 から下限注意までの温度
3	異常範囲	:	上限警報 下限警報	以下の温度 以下の温度
1	温度センサーを利用	用する	:	チェックすると温度センサーが利用で き、温度データを表示します。
2	メンテナンス		:	チェックすると電源制御を行わない

注意 同じアウトレットで同時に「PING 監視」と「温度監視」を行うことは 出来ません。 2-5 スケジュール設定

本装置のスケジュールに関する設定をします。最大 20 件登録できます。

1)「スケジュール設定」ボタン、又は「スケジュール設定」タブをクリックします。

WB Utility 1.00					
状態表示項目	簡易情報表示	監視状態表示 動信設定 監視設定	イベントログ表示 スケジュール設定	電源制御 メール設定	基本設定
簡易情報表示	No. 有効	アウトレット	曜日時	メ // axxe 分	アクション
監視状態表示	1	全アウトレット 💌	毎日 🔻 0	÷□÷	無動作 ▼
イベントログ表示	2	全アウトレット 💌	毎日 👤 🛛	: ÷ • ÷	無動作 💌
制御項目	3	全アウトレット 💌		<u>÷</u> _÷	無動作 ▼
電源制御	5	全アウトレット <u>・</u> 全アウトレット ・		<u></u>	無動作 ▼
設定項目	6	全アウトレット 💌	毎日 👤 🛛	÷ – ÷	無動作 💌
基本設定	7	全アウトレット 💌		÷ 🖸 ÷	無動作 💌
セキュリティ		全アウトレット -		∃⊢∃	無動作 ▼
通信設定	10	全アウトレット 💌	毎日 • 0	÷ – ÷	無動作 👤
監視設定	11		毎日マロ	1	無動作 ▼
スケジュール設定	12	全アウトレット 👤	毎日 🚽 🛛	i i i i i i i i i i i i i i i i i i i	無動作 💌
メール設定	13	全アウトレット 💌	毎日 👤 🛛	: <u>-</u>	無動作 💌
システム情報		全アウトレット 💌		<u> 후 –</u> ÷	無動作 ▼
通信中維	16	重アリドレッド ▼ 全アウトレット ▼		38-3	無動作 ▼
אעקב	17	全アウトレット 🔻	海日 • 0	÷ – ÷	無動作 ▼
	18	全アウトレット 💌	毎日 • 0	: <u>-</u>	無動作 💌
CPUリセット	19	全アウトレット 💌	毎日 👤 🛛	<u> </u>	無動作 👤
切断	20	全アウトレット 💌	0 🔽 日母	÷ □ ÷	無動作 ▼
終了	※スケジューノ	レ機能を使う場合IはNTI	マサーバーの設定が必要	要になります。	適用

スケジュール設定画面

\bigcirc	有効	:	設定したタイマの有効/無効
			チェックした No.が有効になります。
8	アウトレット.	:	制御するアウトレット No.
			全アウトレット、アウトレット 1~4
9	曜日	:	実行する曜日(毎日または指定曜日)
		毎	日 日曜 月曜 火曜 水曜 木曜 金曜 土曜
10	時	:	実行する時間
			0 ~ 23
(11)	分	:	実行する分
			0 ~ 59
(12)	アクション	:	実行する動作
			無動作 リブート 電源ON 電源OFF

2) 設定が終了しましたら「適用」ボタンをクリックします。

注意 スケジュール設定を使う場合は NTP サーバの設定が必要になります。 基本設定で設定してください。 2-6 メール設定

監視機能で異常時および復旧時にメールを送信するアドレスを設定します。

1)「メール設定」ボタン、又は「メール設定」タブをクリックします。

WB Utility 1.00	_1	X
状態表示項目		E 褌服
簡易情報表示	メール設定	
監視状態表示		
イベントログ表示		
制御項目	メールアドレス	
電源制御	POP3サーバ名	
設定項目	SMTPサーバ名	
基本設定	通知先アドレスの活は温度	
セキュリティ		
通信設定	アドレス2	
監視設定		
スケジュール設定	アドレス4	
メール設定	アドレス5	
システム情報	アドレス6	
通信中維	アドレス7	
コマンド	アドレス8	
CRULINSAL	自動ログアウト時間(分) 10	
CFU UTZWF	メールチェック間隔(分) 3	
切断	エラーメッセージ情報	
終了	クリア 適用	

メール設定画面

ユーザー名、パスワード、メールアドレス、POP サーバ名、SMTP サーバ名は、 プロバイダからのメール資料に基づき設定します。

①通知先アドレス

通知するメールアドレスを設定します。 最大8件設定できます。

2 死活

チェックをつけたアドレスに PING 監視情報メールします。

死活監視の判定が[異常]または[回復]に変化するとメールを送信します。 ③ 温度

チェックをつけたアドレスに温度監視情報をメールします。 温度状態が変化した時にメールを送信します。

- ④ APOP有効APOPの有効、無効。
- 2) 設定が終了しましたら「適用」ボタンをクリックします。

注意 「適用」ボタンをクリックしないと設定した内容が有効になりません。

2-7 システム情報

本装置に設定された各項目の概要情報を一覧で確認できます。

1)「システム情報」ボタン、又は「システム情報」タブをクリックします。

💟 WB Utility 1.00		_ 🗆 🗙
状態表示項目	簡易情報表示 監視状態表示 セキュリティ 通信設定 監視設定	イベントログ表示 電源制御 基本設定 スケジュール設定 メール設定 システム情報
簡易情報表示	÷	ステム情報
監視状態表示	機器名	Noname
イベントログ表示	パージョン	1.004.060519
制御項目	モデル名	RPC-T4H
雷源制御	アウトレット1名称	Outlet1
	アウトレット2名称	Outlet2
設定項目	アウトレット3名称	Outlet3
基本設定	アウトレット4名称	Outlet4
セキュリティ		
通信設定	MACアドレス	00:09:EE:00:01:18
	IPアドレス	192.168.1.70
監視設定	サブネットマスク	255.255.255.0
スケジュール設定	デフォルトゲートウェイ	192.168.1.1
メール設定	NTPサーバーアドレス	210.173.160.27
シフテル特報	HTTP機能	有効
	HTTPポート	80
	TELNET機能	有効
<u> コマンド</u>	TELNETポート	23
	RS-232C 通信速度	38400 bps
CPU リセット	RS-232C キャラクター長	7 Bits
切断	RS-232C ストップビット	1 Bit(s)
終了	RS-232C パリティ	None

システム情報画面

2-8 通信中継

本装置に設定された各項目の概要情報を一覧で確認できます。

1)「通信中継」ボタンをクリックします。

通信中継画面



2)「Telnet」タブをクリックします。

Telnet 中継設定

IP アドレス	デフォルト	:	0.0.0.0	
ポート	デフォルト	:	23	
「接続」ボタン	上記 IP アドレスに	接紙	売します。	
「切断」ボタン	通信を切断します。	þ		
「CLS」ボタン	画面をクリアします。			
「終了」ボタン	通信中継を終了し	ます	o	

3)「シリアル」タブをクリックします。

「シリアル開始」ボタン	シリアル通信を開始します。
「シリアル終了」ボタン	シリアル通信を終了します。
「CLS」ボタン	画面をクリアします。
「終了」ボタン	通信中継を終了します。

4)「ログ保存」タブをクリックします。

「記録ファイル」ボタン	記録ファイルを選択します。
「新規」ボタン	新規にログを作成します。
「追加」ボタン	ファイルにログを追加します。
「停止」ボタン	ログ作成を停止します。
「CLS」ボタン	画面をクリアします。
「終了」ボタン	通信中継を終了します。

5)「TEXT 送信」タブをクリックします。

「TEXT 送信」ボタン	TEXT を送信します。
「停止」ボタン	TEXT 送信を停止します。
「CLS」ボタン	画面をクリアします。
「終了」ボタン	通信中継を終了します。

中継機能

WATCH BOOTから、他の機器へ中継通信する際に、大量のデーターを受信すると 内部にデーターの滞留が生じ、データーが抜けて発生することがあります。一度に受信する データーは、概ね40Kバイト以下でご利用ください。また、制御ユーティリティから、 「ファイルの読み込み」を利用して、データーを送信する場合は、一度に1行ずつしか送信 しません。送信後に、レスポンスが帰ってくると、次の行を送信します。TELNET 接続の場 合は、この限りではありません。 2-9 コマンド通信

本装置に設定された各項目の概要情報を一覧で確認できます。

1)「コマンド」ボタンをクリックします。

コマンド通信画面



2)「設定保存」タブをクリックします。

「ファイルに記録」ボタン	ファイルに記録します。
「新規」ボタン	新規にコマンド通信内容を保存します。
「追加」ボタン	ファイルにコマンド通信内容を追加します。
「停止」ボタン	コマンド通信内容を保存を停止します。
「終了」ボタン	コマンド通信を終了します。

3)「設定送信」タブをクリックします。

「ファイル読込み」ボタン	ファイル読込みを開始します。
「ファイル停止」ボタン	ファイル読込みを停止します。
「終了」ボタン	コマンド通信を終了します。

3-1 簡易情報表示

1)「簡易情報表示」ボタン、又は「簡易情報表示」タブをクリックします。

鲁	弱情報表示画面
🛄 WB Utility 1.00	
状態表示項目	
簡易情報表示	簡易情報表示
	Outlet情報 温度状態
イベントロク表示	アウトレット名称 状態 正常
制御項目	1 Outlet1 0.0 °C
電源制御	2 Outlet2
設定項目	
基本設定	
セキュリティ	4 Outlet4 20時 30分
通信設定	4// 99./ ± ±0
監視設定	
スケジュール設定	機器名称 Noname
メール設定	接続ユーザー情報
システム情報	ユーザー名 admin
通信中維	アクセス権限 Admin
コマンド	
CPULITZAL	
010 9 291	
切断	サポートWEBサイトへ
終了	更新

注意

簡易情報表示は現在の本装置の状態を表示する画面で実際に制御することは 出来ません。

3-2 監視状態表示

1)「監視状態表示」ボタン、又は「監視状態表示」タブをクリックします。

💟 WB Utility 1.00													×
状態表示項目	セキュリ 簡易情	!ティ 運 糶表示	信設定 男 監視状態	监視設定 態表示		マケジョ イベント	. ール ログ:	/設定 表示	·× : 1	ール記 電源制	没定 制御	システム! 基本設	春報 定
簡易情報表示					監	視状態	ŧ						
監視状態表示													-
イベントログ表示	No.	電源	判定 温度判断	送信数 動作設知	ŧ	無応答 警報温	: .度	対象 注意	数 温度	動作 Hys	F 温度	実行数 現在温度	
制御項目	1	ON											
電源制御	2	ON											
設定項目	3	ON	正常	上限OF	F	30°0	2	25	5°C	5	°C	0.0°C	
基本設定	4	ON	正常	上限OF	F	30°0	5	25	5°C	5	°C	0.0°C	
セキュリティ		⁷ ウトレット:	番号										
通信設定													
監視設定	_	IPアドL	/71	IPアドレ	ノス2	2	I	Pアド	レス3		IP:	アドレス4	_
スケジュール設定	No.	状態	無応答数	状態 纬	無応	答数	状	鷈	無応答	敪	状態	無応答	敗
メール設定	1												-
システム情報	2									_			
通信中維	3									_			
<u>コマンド</u>	4												
000000		2ウトレット:	番号										
CPU UTZYF	,												
切断													-
終了													

監視状態表示画面

	して、「「」」である。	•	電酒の時能な主モレキオ
\cup	电你	•	电応の状態を衣がしより。

2	判定	:	PING 監視の判定結果を表示します。
	温度判断	:	温度監視の判断結果を表示します。
3	送信数	:	PING 監視の PING 送信回数を表示します。
	動作設定	:	温度監視の動作設定を表示します。
4	無応答	:	PING 監視の無応答回数を表示します。
	警報温度	:	温度監視の警報温度を表示します。
5	対象数	:	PING 監視の対象数を表示します。
	注意温度	:	温度監視の注意温度を表示します。
6	動作	:	PING 監視の動作の内容を表示します。
	Hys 温度	:	温度監視のヒステリシス温度を表示します。
7	実行数	:	PING 監視の実行された動作の回数を表示します。
	現在温度	:	温度監視の現在温度を表示します。
8	状態	:	最新 Ping の応答結果を表示します。
			アウトレット毎に各IPアドレスの応答状態を表示します。
9	無応答数	:	Ping の無応答回数を表示します。
			アウトレット毎に各IPアドレスの応答状態を表示します。

3-3 イベントログ表示

1)「イベントログ表示」ボタン、又は「イベントログ表示」タブをクリックします。

💟 WB Utility 1.00					_ 🗆 🗙				
状態表示項目	セキュ 簡易	リティ 通信設定 情報表示 監視状	監視設定 スケジュール 態表示 イベントログき	設定 メール設定 表示 電源制御	システム情報 基本設定				
簡易情報表示		イベントログ表示							
監視状態表示	No.	日時	内容	情報	接続者				
イベントログ表示	1	2006/06/01 21:01:10	ログ開始						
	2	2006/06/01 21:01:10	NTPサーバ接続	21:01:08					
制御項目	3	2006/06/03 10:04:12	UTY接続	192.168.1.11					
一日の日本山谷田	4	2006/06/03 10:04:12	UTYログイン	192.168.1.11	admin				
一 电"水中山哈内"	5	2006/06/03 10:04:20	UTYHクアリト UTYHØ	192.168.1.11	admin				
設定項目	7	2006/06/03 20:29:20		102160111	admin				
基本設定									
セキュリティ									
通信設定									
監視設定									
スケジュール設定									
メール設定									
システム情報									
通信中維									
コマンド									
CPU Utzył									
切断	1								
終了	*7-	-クはPC時間から計算し	っていますので誤差がありま	ます。	更新				

イベントログ表示画面

- 日時
 日時を表示します。
 例) 2005/01/01 12:00:00
- ② 内容 : イベントの内容を表示します。
- ③ 情報 : イベントの情報を表示します。
- ④ 接続者※ 接続者を表示します。
本装置に接続されたデバイスの電源制御をします。

雨、石生心の市市

1)「電源制御」ボタン、又は「電源制御」タブをクリックします。

	电你们叫回田			
🛄 WB Utility 1.00				_ 🗆 🗙
状態表示項目	セキュリティ 通信設定 監視設定 簡易情報表示 監視状態表示	スケジュール設定 イベントログ表示	 メール設定 電源制御 	 システム情報 基本設定
簡易情報表示		電源制御		
監視状態表示	アウトレット名称	電源制	ijitip	状態
イベントログ表示	1 Outlet1	ON OF	REBOOT	<u> </u>
制御項目	2 Outlet2	ON OF	REBOOT	<u> </u>
	3 Outlet3	ON OF	REBOOT	<u> </u>
基本設定	4 Outlet4	ON OF	REBOOT	<u> </u>
セキュリティ	全アウトレット	ON OF	REBOOT	
通信設定	1449号州表古宫			
			-	
スケジュール設定	1863-617	iname		
メール設定				
システム情報				
通信中維				
אעדב				
CPU Utzył				
切断				
終了				更新

①電源状態

現在の電源の状態を表します。

(更新されないと最新の状態が表示されません。)

②個別アウトレット制御の動作

ON	:	電源出力を開始します。

- OFF : 電源出力を停止します。
- リブート : 電源出力をリブートします。

③ 全アウトレット制御の動作

	ON	:	全アウトレットの電源出力を開始します
--	----	---	--------------------

- OFF : 全アウトレットの電源出力を停止します。
- リブート : 全アウトレットの電源出力をリブートします。

④ 最新情報に更新

最新の電源状態を取得します。

注意 全アウトレット ON の時、各アウトレットは1秒の間隔で ON します。(遅延時間、デフォルト) REBOOTのOFF時間は10秒です。(デフォルト) 遅延時間、OFF時間及びOFF禁止などの設定は変数の変更により可能です。詳細は変数一覧表を参照してください。

5. CPUリセット

本装置の設定変更を有効にします。

1)「CPU リセット」をクリックします。

CPU リセット画面



2) 確認画面の「はい(Y)」をクリックします。

注意 「CPU リセット」をクリックすると設定した内容が有効になり、イベントログの内容は消去されます。
 なお、「CPU リセット」ボタンをクリックすると通信が切断されますが、アウトレットの状態は現状のまま保持されます。IP アドレスも変更されます。

第7章 その他の制御

1. TELNET 接続による制御

本装置は TELNET サーバプログラムへ接続して、遠隔から電源制御および状態 取得ができます。セキュリティ制御の設定がされている場合はその制限内での操 作となります。

- 1) TELNET による接続
 - 「スタート」から「ファイル名を指定して実行」を選択し、テキストボックスを開きます。
 - ② 「初期設定」で設定した | P アドレスを以下のように指定し、本装置にア クセスします。

デフォルトの場合 IPアドレス : 192.168.10.1 TELNET ポート番号 : 23

「telnet_192.168.10.1_23」 ※アンダーバーはスペースを表します。

③ プログラムが起動し、下図のとおり表示されます。

220 WATCH BOOT (Noname) server ready

④ 制御コマンドを入力して、< Enter >キーで実行します。

■制御コマンドー覧表

制御コマンド	内容
MPON	全アウトレットの電源出力開始
MPOF	全アウトレットの電源出力停止
MPOR	全アウトレットのリブート(電源リブート)
PONn	指定されたアウトレットの電源出力開始 n=1~4
POFn	指定されたアウトレットの電源出力停止 n=1~4
PORn	指定されたアウトレットのリブート(電源リブート) n=1~4

POS	全アウトレットの電源状態取得 応答:mmmm 左側からアウトレット1~4 m=0:OFF 1:ON		
XPOS	全アウトレットの電源状態詳細の取得 応答:ABXXXX,ABXXXX,ABXXXX,ABXXXX 左側からアウトレット1~4 A=O:OFF 1:ON B=O:シャットダウン遅延中 1:ON 遅延中 XXXX=Bのタイマ残り時間		
VER	バージョンの表示		
OLSh	 死活監視状態の表示 n=1~4 nを省略すると全てのアウトレットを表示します。 ⊃ンマ区切りで表示。 Outlet No. アウトレット番号[1~4] Power 電源状態[0:Off 1:On] Judge 判定[1:正常 2:異常 3:回復中] Action Count Action 実行回数 Last Ping1 アドレス1の最後の応答[1:正常 2:異常] No Echo Count1 アドレス2の最後の応答[1:正常 2:異常] No Echo Count2 アドレス2の最後の応答[1:正常 2:異常] No Echo Count3 アドレス3の最後の応答[1:正常 2:異常] No Echo Count3 アドレス3の最後の応答[1:正常 2:異常] No Echo Count4 アドレス1の最後の応答[1:正常 2:異常] No Echo Count3 アドレス3の最後の応答[1:正常 2:異常] No Echo Count4 アドレス1の最後の応答[1:正常 2:異常] 		
PASS	パスワードの変更 新しいパスワードを2回入力します。 ※入力を失敗すると変更されません。		
TELNET	変数「IpAdTelnetT」のアドレス、変数「remoteTelnetPortT」 のポートに TELNET クライアントとして接続します。 DiscChar に設定した文字を入力すると切断終了する。 一度に受信するデータは、概ね40Kバイト以下でご利用ください。		
SERIAL	COM に接続された機器とシリアル通信を行う。 通信パラメーター (変更時は CPURESET が必要) rs232Port1Speed 12,24,48,96,144,192,288,384 rs232Port1Bits 7,8 rs232Port1Parity 0 (無し)、1 (奇数)、2 (偶数) rs232port1Stop 1,2 (初期値 384/7/0/1) DiscChar に設定した文字を入力すると切断終了する。 一度に受信するデータは、概ね40Kバイト以下でご利用ください。		

DATE	年月日設定 例)DATE yy/mm/dd yy:年 mm:月 dd:日				
TIME	現在時刻設定(秒は省略可) 例)TIME hh:mm:ss hh:時 mm:分 ss:秒				
PING	PINGを4回送信します。 例)PING [P アドレス]				
CPURESET	CPU をリセットします。 コマンドを実行しても電源状態は変化しません。				
PROMPT=n	0(プロンプト表示無し) 1(「 > 」のプロンプト表示) 2(「 機器名 > 」のプロンプト表示) *変数「promptMode」により接続直後のモードが決まります。				
EXIT	 回線切断 ※ 最初の文字が E, e, Q, q の場合は EXIT と認識します。 ※ シリアル通信の場合は「e 221 Goodbye.」とだけ表示します。 				

※「XPOS」「VER」「PASS」などいくつかのコマンドははログイン時のみ有 効です。

■応答コマンド

正常受付	:	Command OK
不正なコマンド	:	Unrecognized command
前コマンドの処理中のため コマンド実行せず	:	Last command is pending. Command failed.

2. シリアルからの制御

シリアルポートからコマンド入力で電源制御ができます。

- 1)本体前面のRS-232Cポートと設定用 PC のCOMポートを専用ケーブル で接続します。
- 2) ターミナルソフトを起動し、ポート設定をします。

通信速度	:	38400bps
データビット	:	7ビット
ストップビット	:	1ビット
パリティ	:	なし

※EXIT コマンドには応答のみ返します。

 3)制御コマンドを入力しくEnter>キーで実行します。コマンドは「1.TELNET 接続による制御」と共通です。
 ※詳しくは「■制御コマンドー覧表」参照
 ※PASS コマンドは利用できません。

3. モデムからの制御

モデム経由で電源制御ができます。

- 1)本装置 RS-232C ポートを接続するモデムに合わせて設定します。
- 2)本体前面の RS-232C ポートとモデムをモデム専用ケーブルで接続します。
- 3) 遠隔地のモデムから接続します。
- 4) 接続されるとパスワードが要求されます。
- 5)パスワードを入力します。コマンド入力状態になります。
- 6)制御コマンドを入力し、<Enter>キーで実行します。コマンドは「2.telnet 接続による制御」と共通です。
 ※詳しくは「■制御コマンドー覧表」参照
 ※PASS コマンドは利用できません。

注意 モデム制御ではモデム専用ケーブルが必要です。当社営業に問い合 わせてください。

第8章 ロギング機能

1. ロギング機能の設定・表示

デバイスの監視やその他のイベントログを 1000 件記録します。1000 件を超え た場合は古いログから消去し、新しいログを記録します。記録されたログは、コマ ンドで表示・確認できます。

注意 本体電源が切断された場合または本体前面の RESET スイッチが 押された場合、ログと記録時間がリセットされます。

1) TELNET およびターミナルソフトによる設定と表示 記録モード・表示モードの設定及び記録されたログの表示は、それぞれのコマ ンドを入力しくEnter>キーで実行します。ログインして制御する方法で操作 します。

変数はシリアル、TELNET 共通です。値については次項「■ログ制御変数のビット構成」を参照してください。

① 記録モードの変数名とコマンド

変数名	:	logMode
コマンド	:	.logMode

② 表示モードの変数名とコマンド

変数名	:	logDisp
コマンド	:	.logDisp

接続中の表示のみを変更するコマンド (通信が終了すると「logDisp」の値に戻ります。)

コマンド : LOGDISP

■ログ制御変数のビット構成

値は最下位を0ビットとし、19ビットの構成になっています。

0: 無、1: 有

ビット

ニット			ビッ	\vdash	
18	:	温度状態変化	8	:	メール不正アクセス
17	:	変数設定、write	7	:	ユーティリティログイン・ログアウト
16	:	PPPoE関連	6	:	ユーティリティ接続・切断
15	:	モデムログイン・ログアウト	5	:	電源障害等
14	:	モデム接続・切断	4	:	電源制御コマンド
13	:	TELNET ログイン・ログアウト	З	:	拡張ビット
12	:	TELNET 接続・切断	2	:	ping 監視によるイベント
11	:	Web ログイン・ログアウト	1	:	ping 無応答
10	:	Web 接続	0	:	ping 送信
9	:	メールログイン・ログアウト			

TELNET 通信による設定例

・ping 監視によるイベント、電源制御コマンド、電源障害のログを記録する場合 .logMode=000000000000110100

・全て表示する場合

.logDisp=11111111111111111(デフォルト)

・接続中に「温度状態変化」と「変数設定」だけ表示とする場合

■ログ表示コマンド

コマンド	内容		
LOG	ログの表示(連番号順)		
LOG n	ログの表示(最新n個)		
LOGTIME	e = t ログ開始からの経過秒=現在時刻 eO = tO NTP 接続までの経過秒=最初の取得時刻 NTP 無効の場合は e のみ表示		
LOGCLEAR	ログのクリア		
LOGCLEAR T	ログのクリア及び記録時間のリセット		

ログの表示数は20項目です。

<Enter>キーで続きの20項目を表示します。

※TELNET などで複数の同時アクセスはお止めください。

誤動作、誤表示の原因となります。

■ログの表示形式

nnn ttt a b xxxxxxx c

nnn	:	連番号
ttt	:	NTP 無効時:記録開始からの時間
yy.mm.dd hhimmiss	:	NTP 有効時:年月日時分秒
а	:	アウトレット番号
b	:	PING 送信先番号(1~4 番)
xxxxxxxx	:	イベント
С	:	IPアドレス

■記録ログー覧表

監視設定に基づくイベント(記録・表示のモード設定があります。)			
Ping	ping送信		
No Echo	ping 無応答		
監視設定(Action)に基づく	 イベント		
No Action	処理なし		
Outlet Reboot	電源リブート		
Outlet On	電源 ON		
Outlet Off	電源 OFF		
スケジュールの場合は、	「by Schedule」、温度の場合は「by		
Temperature」と表示され	ます。		
電源制御によるイベント			
MPON	全アウトレットの電源出力開始		
MPOF	全アウトレットの電源出力停止		
MPOR	全アウトレットのリブート(電源リブート)		
PON	指定されたアウトレットの電源出力開始		
POF	指定されたアウトレットの電源出力停止		
	指定されたアウトレットのリブート		
FOR	(電源リブート)		
アクセスによるイベント(接	続先 ID が表示されます。)		
> Uty	ユーティリティ接続		
==> Uty	ユーティリティログイン		
<== Uty	ユーティリティログアウト(切断)		
< Uty	ログインしないで切断		
MAIL,TELNET,MODEM の接続、ログインなどもこれに準じます			
mode に関係のない表示			
Mail Error	メール送信エラー		
NITO Sori for Accord Error	NTP サーバ接続エラー。		
INTE Server Access Error	3回続けて失敗した場合。		
NTP hhimmiss	NTP サーバ接続		

第9章 PPPoEの使用

1. PPPoE について

本機は PPPoE を搭載しています。通信事業者の PPPoE サーバに対する、 PPPoE クライアントとして、ご利用いただけます。

2. 設定について

PPPoE 機能をご利用いただくために、以下の変数をご用意しています。 変数の変更は、コマンドから行います。 また、©の変数は設定ユーティリティのメニューから設定を行えます。

◎pppMode 1:常時	詩接続モード O:コマンド接続モード(初期値O)
0pppUserId	ユーザロ
<pre>OpppPassword</pre>	パスワード
pppMyMru	自局側 MRU (初期値 1454)
pppNoReplyInterval	無応答判定時間(秒、初期値2)
pppConnectInterval	常時接続リトライ間隔(秒、初期値 30)
pppReconnectInterval	自動再接続間隔(秒、初期値5:フレッツ仕様では5以上)
pppLcpEchoInterval	LCPのエコー送信間隔(秒、初期値 30)
pppLcpEchoCount	LCP リンク解放までの無応答回数(初期値 10)
ppplcmpEchoInterval	ICMPのエコー送信間隔(秒、初期値O)
ppplcmpEchoCount	Pリンク解放までの無応答回数(初期値5)
pppLogMode 1:接紙	売・解放等のログを記録 O:記録しない(初期値 1)

3.制御について

PPPoE 機能をご利用いただくために、以下のコマンドをご用意しています。

PPPCONN	接続動作を開始	
PPPCONN	接続割作を開始	

pppUserld と pppPassword が設定されていて、かつ初期状態なら動作を 開始し Command OK と表示する。そうでなければ Command failed と 表示する。

- PPPDISC 切断動作を開始 常に Command OK と表示する。初期状態なら何もしない。
- PPPSTAT 状態表示

常時接続モードでも、コマンドを使用できる。

4. 動作について

PPPoE 機能ご利用時の動作を説明します。

常時接続モード(pppMode=1)

- ・立ち上げ時に pppUserId と pppPassword が設定されていれば、自動的に接続動作を 開始します。接続が不成功なら pppConnectInterval の間隔でリトライを続けます。
- ・接続後、通信中に切断された場合は、pppReconnectInterval後に接続をリトライします。
- ・PPPDISC コマンドで切断した場合は、PPPCONN コマンドを実行しない限り接続動作は 開始しません。この PPPCONN コマンドによる接続が不成功でも、リトライはしません。

<u>リセット時の動作</u>

・接続時に CPU リセット(ウォームスタート)を行うと、自動的に切断します。常時接続 モードであれば、その後あらためて接続動作を開始します。

DNS サーバアドレス取得

・ IPCP 接続手順で取得したアドレスを変数 ipAdDnsServer に自動的に設定します。

<u>LED の表示</u>

- ・ケーブル抜け状態 0.25 秒点灯、0.25 秒消灯
- ·PPPoE 接続、通常状態 2 秒点灯、 0.5 秒消灯
- ・PPPoE 接続、障害または復旧中 0.5 秒点灯、0.5 秒消灯
- ·その他の状態 1 秒点灯、1 秒消灯

状態表示

- ・PPPSTAT コマンドでは、フェーズ (p) とサブフェーズ (s) を、p-s として表示します。
 - 例:モデムの電源が入っていないときに接続動作を開始すると、Discovery フェーズで PADO 待ちになる。PPPSTAT 1-1
 - 例:タイムアウトとリトライを繰り返した後、初期フェーズに戻るが、状態表示は次のようになる。PPPSTAT 0,1-1 これは 1-1 の状態で接続が不成功となり、初期フェーズになったことを示します。
- ・1-3 と 3-3 は、状態としては存在しません。PPPSTAT Qのあとに続く表示としてだけ 用いられます。例えば、PPPSTAT Q.3-3 となったら、認証失敗を示します。
- ・接続フェーズでは、等号に続けて IP アドレスも表示します。

各状態の説明

フェーズとサブフェーズの組み合わせで状態が決まります。

<u>フェーズ</u> O:初期フェーズ 1: Discovery フェーズ 2:LCPフェーズ 3: CHAP フェーズ 4:PCPフェーズ 5:接続フェーズ 6.切断フェーズ サブフェーズ 各フェーズごとに定義されます。(初期フェーズと切断フェーズには存在しません) Discovery フェーズ O:初期 1:PADI送信、PADO 待ち 2: PADR 送信、PADS 待ち 3: PADS IJ-4:リンク確立 LCPフェーズ、PCPフェーズ O:初期 4: Closing 6 Reg-Sent Config-Reg 送信、Config-Ack 待ち、Config-Reg 待ち 7: Ack-Rovd Config-Reg 送信、Config-Ack 受信、Config-Reg 待ち 8: Ack-Sent Config-Reg 送信、Config-Reg 受信、Config-Ack 送信、 Config-Ack 待ち 9:リンク確立 CHAPフェーズ O:初期 1: Challenge 待ち 2: Result 待ち 3:エラーResult 4:0K 接続フェーズ O:通常 1:障害

2:復旧中

モデム・回線の監視

モデムには、以下の状態があります。

・ノットレディ 電源オフ、または投入直後

・初期

・接続

・Pリンク解放

モデムは通常は、初期状態か接続状態にありますが、接続状態中に、通信ができなくなることがあります。この場合は、接続手順を行って再接続を行います。

また、接続状態中にモデムの電源をオフにし、再度オンにすると、接続状態に戻るとき と初期状態になるときとがあります。(オフの時間が長いと初期状態になります)

無応答判定

無応答判定時間[変数 pppNoReplyInterval]は、以下の場合に適用します。

- ·PADI に対する PADO 待ち
- PADR に対する PADS 待ち
- ・LCP,ICPC で Config-Reg に対する Config-Ack,Config-Nak 待ち
- ・LCP,ICPC で Config-Req 待ち
- ・LCP,ICPC で Term-Reg に対する Term-Ack 待ち
- ・LCPで Echo-Reg に対する Echo-Reply 待ち
- ・CHAP チャレンジ待ち
- ・CHAP リザルト待ち

接続中は、pppLcpEchoIntervalの間隔でLCP エコー要求を送って、ノットレディで ないか監視しています。pppNoRepUnterval以内に応答が無いとその時点で再び送信 します。無応答がpppLcpEchoCountの回数に達するとノットレディと見なします。 ノットレディと見なすと、接続手順を開始できるか(レディになったか)をチェック します。接続手順を開始できるようになったとき(具体的には PADI に PADO が返っ てきたとき)、あらためてLCP エコー要求を送る。応答があれば、接続状態に戻った と見なします。応答が無ければ、接続手順を開始し、再接続します。(ただし常時接続 モードでなければ、再接続はしません)

接続中に、ppplcmpEchoIntervalの間隔でICMPエコー要求を送って、Pリンクが解放されていないか監視できます。無応答がppplcmpEchoCountの回数に達すると、 Pリンク解放と見なし、常時接続モードなら再接続を行います。初期値は ppplcmpEchoIntervalが0ですので、ICMPエコー要求は送りません。

LCP エコーと ICMP エコーを除いては、リトライ回数は3になっています。

<u>ログ記録</u>

変数 pppLogMode=1 の場合は、以下のものがログに記録されます。

PPPoE Connect	接続した。 Pアドレスも表示
PPPoE Disconnect	切断した
PPPoE Disconnected	切断された
PPPoE Modem Down	ノットレディになった
PPPoE Modem Up	レディになった
PPPoE Continue	接続状態に戻った
PPPoE IP Link Release	■リンクが解放された

第 10 章 シャットダウン

1. シャットダウンについて

この機能により、接続された機器を正常にシャットダウンしてから電源出力を停止できます。シャットダウン機能を利用して、コンピュータの管理や遠隔地からのリモート通信などが容易にできるようになります。

2. パソコンの接続

シャットダウン機能により、接続された機器の OS を正常に終了させてから本機の電源出力 を停止できます。この機能を利用して、コンピュータの管理や遠隔地からのリモート通信な どが容易にできるようになります。

1) 別売のシャットダウンケーブル(XH-9609)で、本機とパソコンを接続します。 パソコンの電源ケーブルも本機に接続します。

注意

別売のシャットダウンケーブル(XH-9609)は当社シャットダウン専用ケーブルです。 他の機種や機器に使用しないでください。誤った使い方をしますと「接続した機器の故 障」、「接続した機器の発火」などの原因となることがあります。 接続されたパソコンのデータは定期的にバックアップを取ってください。

3. パソコンの設定

パソコンのシャットダウン設定をします。 本機の信号極性とパソコンの信号極性を合わせます。

イベント発生時に信号は「負」から「正」へ変化します。 電源障害信号:CS 容量低下信号:CD

Windows 98/ME: 添付ソフト「MRC-SHUTDOWN」Windows NT/2000/XP: 標準 UPS サービスLINUX: 電源障害信号に対応したソフトをご選択ください。

- Windows 98/ME MRC-SHUTDOWN を PC にインストールします。 インストール手順は添付 CD の readme.txt を参照してください。
- 2) Windows 2000/XP
 ① 設定するパソコンの「コントロールパネル」を開きます。
 - ②「電源オプション」のアイコンをダブルクリックします。
 - ③「UPS」のタグをクリックします。
 - 《UPS画面》

電源オブション	のプロパティ		<u>? ×</u>
電源設定	詳細設定 休止状態 UPS		
11:45	無停電電源装置(UPS)	
	現在の電源: UPS の推定稼働時間: UPS の推定容量: バッテリの状態:		
II A	製造元: (なし) モデル: 	再成(<u>©)</u> 選択(©)	
	UPS サービスは現在停止しています。		
バージョン	情報(8)		
	ОК	キャンセル 適用	(<u>A</u>)

- ④ 詳細欄の「選択(S)」のボタンをクリックします。
- ⑤「製造元の選択(S)」項目のリストから「一般」を選択します。
- ⑥「モデルの選択(M)」で「カスタム」クリックして選択します。
 《モデルの選択画面》

UPS の選択	<u>?</u>	×
製造元の選択(S):	ポート(<u>P</u>):	_
→ ¹ /2 モデルの選択(M):		_
17X.94		
	次へ(11)> キャンセル	

- ⑦「ポート(P)」項目のリストから COM ポート番号を選択します。
- ⑧「次へ(N)>」のボタンをクリックします。

《UPS インターフェース画面》				
UPS インターフェイスの構成 - COM1			? ×	
- UPS シグナルの種性: 学告: シグナルの種性を い。	構成する前に、	UPS ドキュメントを必ずお読みく	ťč	
▼ 電源障害/バッテリ駆動(P)	〇角	● 正		
🔽 バッテリの低下(L):	C 負	⊙E		
☑ UPS シャットダウン(①):	〇頁	⊙ 正		
	< 戻る(<u>B</u>)	完了 キャン	1211	

- ⑨「電源障害/バッテリ駆動」にチェックを入れます。
- 10 各極性を本機と同じ極性に設定します。
- 11 正負の選択ができましたら、「完了」ボタンをクリックします。
- ※ UPS 連携の場合は「バッテリの低下」も同じように設定します。
- 3) Windows NTの場合
 - ① 設定するパソコンの「コントロールパネル」を開きます。
 - ②「無停電電源」のアイコンをダブルクリックします。
 - ③「無停電電源装置がインストールされているポート」にチェックを入れ、コムポ ート番号を選択します。
 - ④「電源障害信号」にチェックを入れます。《UPS 設定画面》

無停電電源(UPS)			×
▶ 無停電電源装置かインストールされてし	10年1-102	COM1:	OK
無停電電源の構成	(金融)(市)		キャンセル
☑ 雷源隨害信号(P)	────────────────────────────────────	01.7%-7±1.X電圧:	AIL 7 (LL)
	~ ~	o <u>≖</u>	· /// /
○ ハッハク重低「ほちし」 (最低シャットタウン2分前に警告)	ЮĄ	OE	
□ リモート無停電電源シャットタウン(<u>R</u>)	〇負	● 正	
- □ コマンド ファイルを実行する(2)			
77(1)名:			
一無信束策道の特性		-F*7	
	電源障	こへ 書から警告メッセージま	
	での時間	間(①:	12 T2
夜間 万二乙のパッガリ冉 100 日分	警告約	セージの表示間隔(<u>D</u>):	120 🛢 秒

⑤ 各極性を本機と同じ極性に設定します。

⑥ 正負の選択ができましたら、「OK」ボタンをクリックします。

※UPS 連携の場合は「バッテリ容量低下信号」も同じように設定します。

第11章 無停電電源装置 (UPS)との連携

1. 本機と無停電電源装置(UPS)の接続

本機とUPSを以下の手順で接続します。 ※UPSご利用の際は、シリアル・モデム通信は使用できません。

- 1) UPSと本機とを専用通信ケーブルで接続します。 専用通信ケーブルは弊社もしくは各UPSメーカーにご相談ください。
- 2)本体前面 DIP スイッチ.1 を ON (下) にします。
- 3)本機の電源コードをUPSのACアウトレットに接続します。
- 4) UPSの電源出力を開始します。

2. 機器設定

本機を TELNET 接続、シリアルポートからターミナルソフトにて下記の項目を 設定してください。「その他の制御」を参照してください。

1	UPS 名称 変数 半角英数字で最大 20 文字ま ⁻	: で指定	upsIdentName できます。
2	UPS モニタ時間間隔(秒) 変数 デフォルト		upsMonitorInterval 10 (0~60、0は1と見なす。)
3	UPS シャットダウン開始 待機時間(秒) 変数 デフォルト		debMasterUpsAlarmWaitTime 120

:	120	
	(-1~300、	-1 の場合は

シャットダウン無効)

設定された時間が経過すると、本機は停電状態と認識し、シャットダウン 処理を開始します。設定された時間内に電源障害を検知した場合には、通 常状態に戻ります。

シャットダウン時間 :電源 OFF遅延時間

- ④ UPS シャットダウン有効化
 変数
 デフォルト
 ご debMasterEnableUpsShut
 デフォルト
 ジェンク
 (1:有効 2:無効)
- ⑤ PCのER信号との連携の有効化
 変数 : debOlShutdownSignal
 デフォルト : 2,2,2,2
 (1:有効 2:無効)

⑥ 給電状態
 変数 : upsOutputSource
 デフォルト : 1
 Q,1:未設定 3:正常 5:バックアップ

⑥ バッテリ状態
 変数 : upsBatteryStatus
 デフォルト : 1
 Q,1:未設定 2:正常 3:低電圧

⑦ UPS 論理 変数 デフォルト

: upsSignalLevel : 15

制御フラグ(4bit)				
4 3 2 1				

0:負 1:正

①停電検知レベル デフォルト:正
 ②ローバッテリ検知レベル デフォルト:正
 ③未使用(1:固定)
 ④シャットダウン信号レベル デフォルト:正

以下は設定例です。

- 例1) ①停電検知レベル
 ②ローバッテリ検知レベル
 ③未使用(1:固定)
 ④シャットダウン信号レベル
 「正」
- 例2) ①停電検知レベル
 〇ローバッテリ検知レベル
 〇国ーバッテリ検知レベル
 〇ま使用(1:固定)
 ④シャットダウン信号レベル
 「正」

第 12 章 SNMP の使用

1. SNMP について

本機はSNMPエージェント機能を装備しています。SNMPマネージャーを利用して、ネットワークシステムの電源管理、電源制御を統合的に行うことができます。

2. 機器設定

本機を TELNET 接続、シリアルポートからターミナルソフトにて下記の項目を 設定してください。「その他の制御」を参照してください。

1	SNMPのSET、GET 有効化 変数 デフォルト	:	snmpGetSetEnabled O (O:無効 1:有効)
2	SNMP TRAP の有効化 変数 デフォルト	:	snmpTrapEnabled O (O:無効 1:有効)
3	SNMP 不正アクセス時の TRAP 通知 変数 デフォルト	:	snmpAuthenTrapEnabled 2 (1:有効 2:無効)
4	TRAP 送信回数 変数 デフォルト	:	snmpTrapSendN 1 (1~9)
5	TRAP 送信間隔(秒) 変数 デフォルト	:	snmpTrapSendInterval 1 (1~9)
6	TRAP 送信先アドレス 変数 デフォルト	:	snmpTrapAddr 0.0.0.0,0.0.0,0.0,0.0,0,0.0,0,0,0,0,0,0
7	SNMP 用フィルタの有効化 変数	:	snmpFilterEnabled

デフォルト

: O (O:無効 1:有効)

- ① SNMP GETコミュニティ名
 変数 : getCommunity
 デフォルト : Public
- ① SNMP SETコミュニティ名
 変数 : setCommunity
 デフォルト : Public
- ② SNMP TRAPコミュニティ名
 変数 : trapCommunity
 デフォルト : Public

3. MIBについて

本機を管理するためのプライベートMIBを準備しています。

付属CD-ROM内 本機-MIB(mibファイル)

プライベートMIBファイルをNMSにロード・コンパイルすることにより、本 機及び接続されたUPSの管理をNMS上で行うことができます。

注意 MIBのロード・コンパイル使用方法についての詳細は、 ご利用されるNMSのマニュアルを参照してください。

※MIBから行えることには制限があります。詳しくは弊社営業までお問合せくだい。

第 13 章 ネットワーク 稼動監視

1. 機器設定

本機から UDP のパケットを送出し、電源状態を通知することができます。 「RPC コンダクタ」を利用すれば、各 WATCH BOOT からのパケットを受信し一元管理することができます。

本機を TELNET 接続、シリアルポートからターミナルソフトにて下記の項目を設定してください。「その他の制御」を参照してください。

 MSRP機能 変数 デフォルト

: snmpGetSetEnabled : O (O:無効 1:有効)

RPC コンダクターを使用するパソコンの IP アドレスを設定します。

② 送信先アドレス	
変数	: ipAdCenter
デフォルト	: 0.0.0,0,0.0,0,0.0,0
	(3箇所)

RPC コンダクターを使用するパソコンのポート番号を設定します。 ③ ポート番号

3)	ハート番号		
	変数	•	centerPort
	デフォルト	:	5000

情報を通知する間隔を設定します。

4	定期通知の送信間隔(秒)		
	変数	:	centerSendTimer
	デフォルト	:	300

電源変化時は、定期通知間隔を待たず直ちに通知します。その時の通 知回数を設定します。

5	電源変化時の通知回数		
	変数	:	enterChangeSendCount
	デフォルト	:	3

電源変化時の通知の2回目以降の通知間隔を設定します。

6	電源変化時の通知間隔(秒)		
	変数	:	c enterChangeSendTimer
	デフォルト	:	10

2. RPC コンダクタの利用

設定前の確認

 ・設定用PCと本機をLANで確実に接続してください。

 ・BPCコンダクタをPCにインストールしてください。
 MRC-MANAGERはWindows2000/XP対応ソフトです。

 RPCコンダクタの設定、利用方法は、RPCコンダクタ説明書(PDFファイル)をご覧下さい。

1) RPC コンダクタを起動します。画面が表示されます。

	▼ 名称	アドレス	電源状態	スケジュール	更新日時	ID	PING	Reboot	温度	温度状態
- 	➡教室	192.168.1.40			2006/05/23	00:09:EE:00:				
山植	─── 講堂A	192.168.1.41		0000	2006/05/23	00:09:EE:00:				
B棟	───請堂B	192.168.1.42			2006/05/23	00:09:EE:00:				
」 C棟	Z 実験室A	192.168.1.62	0000		2006/05/23	00:09:EE:00:	$\times - \times -$	4040	27	正常
	·····Z実験室B	192.168.1.61				00:09:EE:00:				
	Z 食堂	192.168.1.60				00:09:EE:00:				
	🔣 DË-	192.168.1.51				00:00:00:00:0				
	200 受付	192.168.1.50				00:00:00:00:0				

2) 主な機能

各WATCH BOOTのアウトレット状態を監視できます。

各 WATCH BOOT の PING 監視の状態および REBOOT 回数を一覧表示できます。



■ 変数一覧

変数名	初期値	内容	備考
ipAdEntAddr	192,168,10,1	$P \mathcal{P} \mathcal{F} \mathcal{V} \mathcal{A}$	
ifPhysAddress	(機器毎)	MACアドレス (ReadOnly)	
password	magic	TELNET パスワード	
uPassword1a	magic@admin		文字列パ
uPassword1b			スワード:最大32文字 (重
uPassword1c		admin 権限、 の とパフロード	
uPassword1d			D:最大8文字 (重
uPassword1e			複不可) (@は不可)
uPassword2a			
uPassword2b			
uPassword2c			
uPassword2d			
uPassword2e		Control 権限,	
uPassword2f		Dとパスワード	
uPassword2g			
uPassword2h			
uPassword2i			
uPassword2j			
uPassword3a			
uPassword3b			
uPasswordBc			
uPassword3d			
uPasswordBe		ident 権限、	
uPassword3f		Dとパスワード	
uPasswordBg			
uPassword3h			
uPassword3i			
uPasswordBj			
serialNo	空	未使用	
keyCode	空	キーコード:自動生成	
keyCheck	0	キーチェック	O:無効 1:有効
sysName	Noname	機器名称	半角英数字 19 文字以内
snmpGetSetEnabled	0	SNMPのSET、GET有効化	O: 無効 1: 有効
snmpTrapEnabled	0	SNMP TRAP の有効化	O: 無効 1: 有効
alarana Au tha ala Tuana Fua ala la al	0	SNMP不正アクセス時の	1・左対 〇・毎対
	2		
	1		1-0
Simpilapse pine val	000000000000000000000000000000000000000		1, 39
somoTran∆chtr	000000000000000,	TRAP送信先アドレフ	8.箇所
	0,0,0,0		
snmpFilterEnabled	0	SNMP用フィルタの有効化	0:無効 1:有効
smpFiterAddr	000000000000000000000000000000000000000	フィルタ有効時許可する アドレス	10箇所

	255,255,255,255,		
	255255255255,		
	255255255255,		
	255255255255,		
	255255255255		
	255255255255,		
	255,255,255,255,		
	255255255255,		
snmpFilterMask	255255255255	フィルタ有効時のMask	10箇所
getCommunity	public	SNMP GETコミュニティ名	
setCommunity	public	SNMP SETコミュニティ名	
trapCommunity	public	SNMP TRAPコミュニティ名	
sysDesor	変更予定?	(ReadOnly)	
sysContact	inforpc@mekyo.co.jp	連絡先	
sysLocation	Nowhere	設置場所	
ifDescr	変更予定?	(ReadOnly)	
ipAdEntNetVask	255255255.0	ネットマスク	
ipRouteDest	0,0,0,0	デフォルトゲートウェイ	
netBootpRetry	0	BOOTPリトライ回数	
netRanpRetry	0	RARPリトライ回数	
tehetEnabled	1	TELNET の有効化	O:無効 1:有効
tehetPort	23	TELNET のポート番号	
utilityPort	9000	UTY のポート番号	
la a a Daut	0100	ファームウェアローダーの	
loadport	9100	<u>ハート留ち</u> HTTPファイルをロードする	
fileLoadPort	9200	ポート	
httpEnabled	1	HTTP の有効化	O:無効 1:有効
httpPort	80	HTTPのポート番号	
httpRefreshInterval	30	HTTP自動更新間隔	
httpRefreshEnabled	0	HTTP自動更新の有効化	O:無効 1:有効
dhapEnabled	0	DHCP の有効化	O:無効 1:有効
ipFilterEnablec=0	0	Pフィルタの有効化	O:無効 1:有効
	0.		
iaEittar∆ddr	000000000000000000000000000000000000000		
	255255255255	FJ1/J9/FUX	
	255255255255,		
	255255255255,		
	255255255,		
	255,255,255,255,		
	255255255255,		
	255255255255,		
	200,200,200, 055,055,055,055		
ioFilterMask	255255255255	Pフィルタマスク	10アドレス
model	BPC-T4H	モデル名 (BeadOnly)	
oemNo	0	未使用	
rs232Port1Speed	384	シリアル通信速度(×100BPS)	384,192,96,24
rs232Port1Bits	7	シリアル通信ビット	7,8
rs232Port1StopBits	1	シリアル通信ストップビット	1,2
rs232Port1Parity	0	シリアル通信パリティ	0:無 1:奇 2:偶
version		バージョン表示(ReadOnly)	
maiErrorMsg	空	メールエラー内容(ReadOnly)	

debTablactiveTimer	10		
	en en		
	0000	全アウトレットリブート時の	
debMasterRebootTime	10	OFF時間(秒)	8~3600の整数
debOlPowerOnTime	1234	各アウトレットのON時間	左→右 1→4アウトレット -1~3600の整数
debOlShutdownTime	0,0,0,0	各アウトレットのOFF 時間	左→右 1→4アウトレット -1~3600の整数
debORebootTime	10,10,10,10	各アウトレットのREBOOT 時間	左→右 1→4 アウトレット 8~3600の整数
clebOWdogAddr	0,000,000,000,000,000,000,000,000,000,	監視先Pアドレス	左→右 1→4 <i>ア</i> ウトレット
debOWdogSendMax	10,10,10,10	PING 監視 送信回数	左→右 1→4アウトレット 1~100の整数
debOWdogNoResMax	1Q1Q1Q10	PING 監視 無応答回数	左→右 1→4アウトレット 1~100の整数
debOWdogActCond	1,1,1,1	PING 監視 監視対象数	1~4 (整数)
debOWdogAction	0,0,0,0	PING 監視 Action	0:noPing1:noAction2: Reboot3:On 4:Off
debOWdogActCount	空	PING 監視 Action 回数(ReadOnly)	
debOWdogStatus	空	PING 監視判断(ReadOnly)	1:正常 2:異常 3:回復中
debOlRebootCount	1,1,1,1	PING 監視 再 Reboot 回数	左→右 1 <i>→</i> 4アウトレット
debOIRebootInterval	1,1,1,1	PING監視 再Reboot間隔(秒)	左→右 1 <i>→</i> 4アウトレット
debOWdogLastStatus	空	PING 監視 最終応答 (ReadOnly)	1:正常 2:異常
debOINoResCount	空	PING 監視 無応答回数(ReadOnly)	左→右 1 <i>→</i> 4アウトレット
debOlNoEchohterval	5	PING 監視 無応答検出時間(秒)	5~60の整数
debOPingInterval	1	PING 監視 送信間隔(分)	1~60の整数
pingInterval2		PNG 監視 送信間隔個毎(分)	未設定時は上段値 0~60の整数
tempEnabled	0	温度監視の有効化	O:無効 1:有効
tempTestMode	0	温度テストモードの有効化	O:無効 1:有効
tempSimMode	0	温度シミュレーションモード	O:無効 1:有効
tempLowerA	-5	下限警報閾値	少数点以下は025の倍数とな る。 (例:183を指定すると 1825となる。)
tempLowerW	0	下限注意閾値	
tempLowerH	2	下限ヒステリシス	
tempLowerOff	1	低温アウトレット解除	O:無効 1:有効
tempUpperA	45	上限警報閾値	少数点以下は025の倍数とな る。(例:183を指定すると 1825となる。)
tempUpperW	35	上限注意閾値	
tempUpperH	2	上限ヒステリシス	
tempUpperOff	1	高温アウトレット解除	O:無効 1:有効
tempQICantral	0000	温度によるアウトレット動作	〇:対象外 1:上限警報で動作 2:下限警報で動作
			0:正常 1:上限注意
tempStatus	0	温度状態	2:上限警報3:下限注意 4:下限警報

			0:正常(解除済)
	0		1:上限警報実行
tempActionStatus	0	温度による動作状態	
tempDegree	0 0 that 0 that 0	温度測定値(C)	少数点第二位まで表示
debOlName	utlet4	アウトレット名	半角英数字 20 文字以内
		スケジュールの有効化	
schEnabled	空	(全20個)	0:無効 1:有効
			空:毎日1:日2:月
schDav	空	(全20個)	3·火 4·水 5·木 6:金 7:十
		スケジュール時間	
schHour	0,0,0,0,0,0	(全20個)	0~23の整数
a ala) fiai ta	0,	スケジュール分	
scrivinule		(主之)値) マケジュールアウトレット	空:全 1:1 2:2
schOutletNo	空	(全20個)	3:3 4:4
		スケジュールアクション	0:NoAction 1:Reboot
schAction	空	(全20個)	2:powerOn 3:powerOff
ipAdDnsServer	0.0.0.0	DNSサーバアドレス	
mailUserName	空	メールユーザー名	
mailPassword	空	メール パスワード	
mailAddr	空	メール アドレス	
mailPopServer	空	メールPOPサーバ	
mailSmtpServer	空	メールSMTPサーバ	
extMaiAddr1	空	送信先メールアドレス1	
extMaiAddr2	空	送信先メールアドレス2	
extMaiAddr3	 空	送信先メールアドレス3	
extMaiAddr4		送信先メールアドレス4	
extMaiAddr5		送信先メールアドレス5	
		洋信先メールアドレフら	
	工 		
	工 穴		
	<u> </u>	PNG監視 メール送信有効化	
mailnfoFlag	空	(8ビット)	O:無効 1:有効
		温度監視、メール送信有効化	
maiTempInfoFlag	至	(8ビット)	0:無効 1:有効
maiCommandEnabled	0	メールコマンドの有効化	0:無効 1:有効
mailLogoutTime	10	メールログアウト時間(分)	1~60の整数
maiCheckInterval	3	メールチェック間隔(分)	1~60の整数
mailApopEnabled	0	APOP の有効化	0:無効 1:有効
pollingPcAddr1	空	ポーリングPC IPアドレス	
pollingPcAddr2	空	ポーリングPC IPアドレス	
pollingPcAddr3	空	ポーリングPC Pアドレス	
pollingPcAddr4	空	ポーリングPC Pアドレス	
pollingPcAddr5	空	ポーリングPC Pアドレス	
pollingPcAddr6	空	ポーリングPC IPアドレス	
pollingPcAddr7	空	ポーリングPC IPアドレス	
pollingPcAddr8	 空	ポーリングPC Pアドレス	
pollingPoPort	 空	ポーリングPC ポート	
mlingDavingNh			
		ホレングの方がと	
	0		
CAIIDACKENADIEC	U	コールハックの月刻心	し・無効 I・11分
			0:無し 1:「>」の表示 2:
-------------------------	----------------------------	-----------------------------	---------------------------
promptMode	2	TELNET プロンプトモード	「機器名>」の表示
modemEnabled	0	モデムの有効化	O:無効 1:有効
modemTimeout	10	モデムタイムアウト時間(分)	
logWode	0100	ログ記録モード(19ビット)	O:無効 1:有効
logDisp	111 1111 1111 1111 1111	ログ表示モード(19ビット)	O:無効 1:有効
mailLogCount	空	メールで送信する更新された ログの数	0:無効 1~20:閾値
mail ogDisp	111 1111 1111 1111 1111	メールで送信するログモード (19ビット)	Q:無効 1:有効
ipAdNtpServer	0000		
ntoloteval	6	NTP サーバーへの アクヤス問隔(10分)	
msroEnabled	0	MSRPの有効化	
ipAdCenter	0000000000000	監視情報送信先Pアドレス(3箇所)	
centerPort	5000	監視情報送信先ポート	
Terminalld	空	監視	0~9999
centerSendTimer	300	監視情報送信間隔(秒)	
centerChangeSendTimer	10	状態変化時の送信間隔(秒)	
centerChangeSendCount	3	状態変化時の送信回数	
_		TELNET DO TELNET	
ipAdTehetT	0.0.0		
ipAdTehetU	0.0.00	中継アドレス	
remoteTehetPortT	23	TELNET からの TELNET 中継先ポート	
remoteTehetPortU	23	UTYからのTELNET中継ポート	
discChar	空	中継中の通信切断キャラクタ	
popMode	0	PPPoF 常時接続モード	
pool lead	 空		
popPassword		PPPoEパスワード	
pppMMru	1454	自局側MRU	
pppNoReplyInterval	2	無応答判定時間(秒)	
pppConnectInterval	30	常時接続リトライ間隔(秒)	
pppReconnectInterval	5	自動再接続間隔(秒)	
pppLcpEchoInterval	30	LCPのエコー送信間隔(秒)	
pppLqpEchoCount	10	LCPのリンク解放までの 無応答回数	
pppcmpEchoInterval	空	ICMPのエコー送信間隔(秒)	
ppplcmpEchoCount	5	Pリンク解放までの無応答回数	
upsblentName		UPS名称	
upsMonitorInterval	10	UPSモニタ時間間隔(秒)	0~60、0は1と見なす。
debMasterUpsAlarmWaitTi		UPSシャットダウン	-1~300,
me	120	開始待機時間(秒)	-1の場合はシャットダウン無効
upsSignalLevel	15		
debVasterEnableUpsShut	2		1.有效 2.無效
debUShutdownSignal	2222	FUのFR信号との連携の有効化	1.有効 2.無効 0.1.未設定 3.正堂
upsOutputSource	1	給電状態	5.バックアップ 0.1:主恐定 2:正常、
upsBatteryStatus	1	バッテリ状態	
upshputLineBads		商用入力異常回数	

	000000000000000000000000000000000000000		
	0:00:00:00:00,00:00:00:		
	000000,00000000000		
debWakeupPhysAddr	000	WOL設定	
debWakeupMaxCount	2	マジックパケット送信回数	
debWakeupInterval	15	マジックパケット送信間隔(秒)	

■ ログ変数一覧表

内容	情報	TELNET などのLOG
ログ開始		Log Start
PING 送信	outlet no. IPaddr no.	ping
PING 無応答	outlet no. IPaddr no.	No Echo
死活判定(NoAction)	アウトレット no.	No Action
死活判定(REBOOT)	アウトレット no.	Outlet Reboot
死活判定(アウトレット ON)	アウトレット no.	Out 1 et On
死活判定(アウトレット OFF)	アウトレット no.	Outlet Off
正常/回復中	アウトレット no.	Outlet Recovered
スケジュール(REBOOT)	アウトレット no.	Outlet Reboot by Schedule
スケジュール (アウトレット ON)	アウトレット no.	Out 1 et On by Schedule
スケジュール		
(アウトレット OFF)	アウトレット no.	Outlet Off by Schedule
		Outlet Reboot
温度監視(REBOOT)	アウトレット no.	by Temperature
温度監視(アウトレット ON)	アウトレット no.	Outlet On by Temperature
温度監視(アウトレット OFF)	アウトレット no.	Outlet Off by Temperature
全アウトレットON	アウトレットALL D	MPON
	(旧は接続者)	
全アウトレット OFF	アウトレット ALL ID	MPOF
	(旧は接続者)	
全アウトレット REBOOT	アウトレットALL ID	MPOR
PDFUyFON		PON
D J F U Y F OFF		POF
P P P P REBOUT		FOR
		N
	Paddr	
	IFauur IPadar ID (ID (井按結老)	
	IFadur ID (ID la)按称音) IPadar ID (ID (计按结类)	
マールログイン理求	Faddi ID (ID lago)(ID) IPoddrno (no(†認定来早)	
メールログイン安水	IPadurno.(NO.1d政正留号) IPaddrna (na/t認定来早)	
	Faddin N. (N.16改定留写)	
	IPadul IID.(IID.16政定留与) IPaddr	
	IPadul IPaddr	
	ll auui IPaddr	
	Paddr	
	ll auui IPaddr	K Tabat
woo janu:		
VVED ロンアフト		

モデム接続		>Modem
モデムログインせず切断		< Modem
モデムログイン		==> Modem
モデムログアウト		<== Modem
PPPoE 接続した	Paddr	PPPoE Connect
PPPoE 切断した		PPPoE Disconnect
PPPoE 切断された		PPPoE Disconnected
PPPoE ノットレディになった		PPPoE Modem Down
PPPoE レディになった		PPPoE Modem Up
PPPoE 接続状態に戻った		PPPoE Continue
PPPoE IPリンクが解放された		PPPoE IP Link Release
設定変更	[変数名] D(Dは接続者)	variable set (xxxxx)
設定書込(WRITE)	ID (ID は接続者)	write to FROM
温度状態変化	正常、℃	Temperature Normal
温度状態変化	上限注意、℃	Temperature High Warning
温度状態変化	上限警報、℃	Temperature High Alarm
温度状態変化	下限注意、℃	Temperature Low Warning
温度状態変化	下限警報、℃	Temperature Low Alarm
NTP サーバ接続	hour minute second	NTP hhimmiss
NTP サーバ接続エラー		NTP Server Access Error
メールエラー		Mail Error
電源障害発生時		Power Trouble
電源障害回復時		Power Trouble Recover
容量低下発生時		Battery Low
容量低下回復時		Battery Low Recover

■仕様-	-覧表
------	-----

	LAN通信仕様		ARP、TCP/IP、DUP/IP、ICMP,HTTP、MD5、 SNMP,BOOTP,DHCP,FTP,TELNET, SMTP, POP,NTP,PPPoE	
通信仕様			SNMPマネージャー, TELNET	
	LA	AN制御方法	Web	
			TCP/IPユーティリティ	
			電源ON	
	त्र	运生》(空田	電源OFF	
	æ,	凉前御/管理 	リブート	
			電源状態取得	
	タ	イマー	週間(20個)	
			電源ON遅延時間	
	遅	延時間設定	電源OFF遅延時間(シャットダウン時間)	
機能			リブート時間	
	U	PS連携	停電時連動機能	
	シャットダウン機能		電源障害信号出力	
			Ping送信	
	状	態監視	通報機能:SNMPトラップ、UDPパケット	
			温度監視	
	WOL対応機能		あり:MAGIC PACKET送信	
			10Base-T×1(IEEE 802.3に準拠)	
			RS-232C×1(Dsub9ピンオス)	
	'		RJ11×4(シャットダウンインタフェース)	
			RJ11(温度センサー)	
	定	最大制御出力	100V AC 15A (1500W)	
ハード仕様		消費電力	最大 5.8W	
	格	入力電源電圧	AC100V±10% (50/60Hz)	
	使用環境		温度 5~40℃	
			湿度 20~85%(ただし結露なきこと)	
	外形寸法		$220(W) \times 45(H) \times 170(D) mm$	
	重量		1.8kg	
安全規格	特定電気用品認証品(電気用品安全法)			

接点式 UPS 利用時 ・UPS 自動停止無効 ・DIP スイッチ.1 のみ ON ・PowerON=O(s)

T1:UPS モニタ時間間隔

デフォルト: 10秒 設定可能値:0、10~60
 T2:シャットダウン開始待機時間(停電確認時間)
 デフォルト:120秒 設定可能値:-1~300
 T3:Shut down(シャットダウン遅延時間)

デフォルト: 30秒 設定可能値:0~3600



CS:電源障害信号

CD:容量低下信号

ご注意

- (1)本書及び製品の内容の一部または全部を無断で複写複製することは禁じます。
- (2) 本書及び製品の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3)本書及び製品の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一 ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきの点がありましたら、ご連絡く ください。
- (4) 本製品を運用した結果の影響については、(3) 項にかかわらず責任を負いかねます のでご了承ください。
- (5)本製品がお客様により不当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、 または弊社及び弊社指定のもの以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因 して生じた障害などにつきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (6) 弊社指定以外のオプションを装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いか ねますのでご了承ください。

Windows95、Windows98、WindowsME、WindowsNT、Windows2000、 WindowsXPはMicrosoft Corporationの登録商標です。

 WATCH BOOT mini
 R P C - T 4 H

 取扱説明書
 第 1.0 版

 版権所有明京電機株式会社
 2006 年 6 月

明京電機株式会社

〒116-0012 東京都荒川区東尾久 4-27-2 TEL (03)3810-5580 FAX (03)3810-5546 URL:<u>http://www.meikyo.co.jp</u> E-mail:inforpc@meikyo.co.jp